

ごみ減量化に関するアンケート調査結果

調査概要

（１）調査の目的

循環型社会の形成、2050年までの二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指して、更なるごみの減量化の方策を検討するため、市民の皆様の意向と取り組み状況を把握し、今後の市の施策へ反映することを目的に実施しました。

（２）調査の方法

調査の対象者、実施時期、配布・回収方法、回収率などは以下のとおりです。

対象者	住民基本台帳より、15歳以上の市民から無作為に抽出した1,000人
実施時期	2022（令和4）年10月6日～10月25日
配布・回収方法	郵送による発送・郵送による回収または専用フォーム
回収票	382票
回収率	38.2%
有効回答票※	382票
有効回答率	38.2%

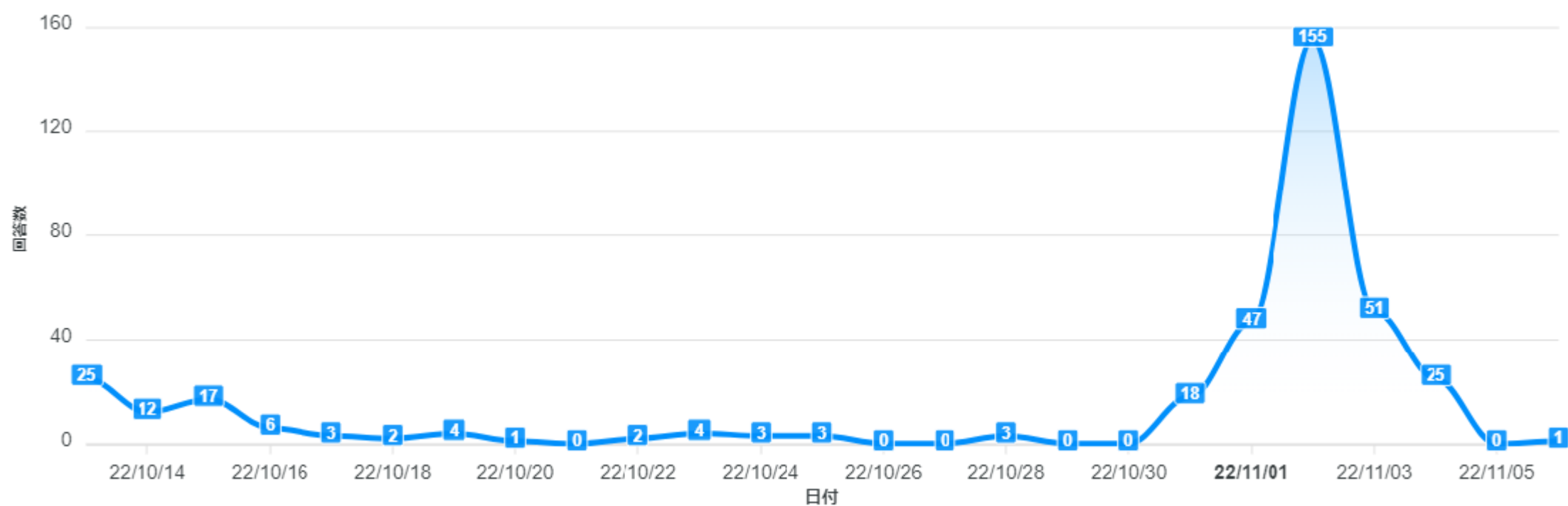
※全問無回答のアンケート票を除いた票

○設問には1つのみ答えるもの（シングルアンサー）と複数回答のもの（マルチアンサー）があり、マルチアンサーの設問では、表記の割合の合計は100%を超えます。

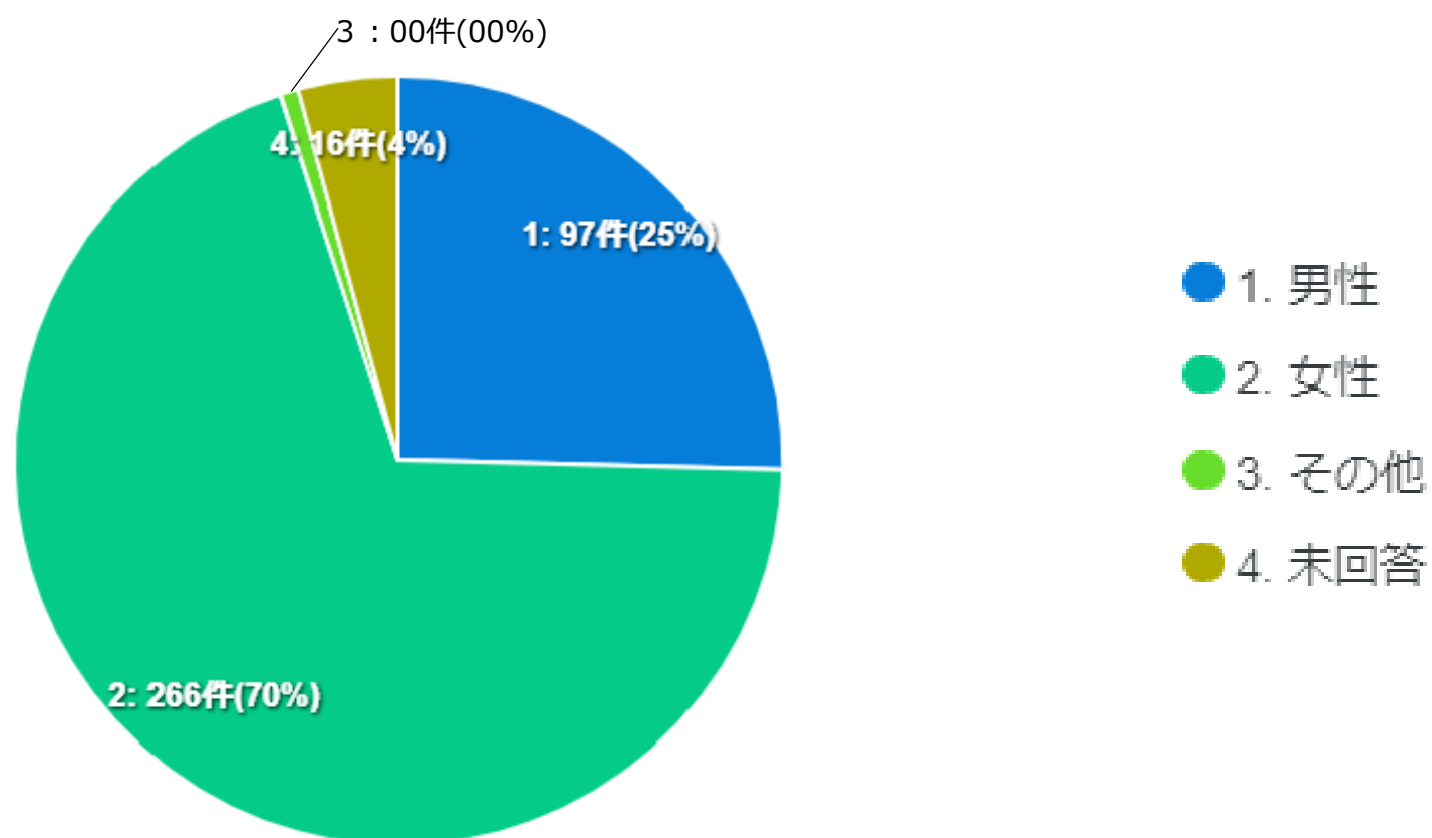
○割合は選択肢ごとに少数第2位で四捨五入しているため、シングルアンサーの設問でも割合の合計が100%にならない場合があります。

○割合は選択肢ごとに少数第2位で四捨五入しているため、単純集計で表記されている割合とクロス集計の平均のパーセンテージは必ずしも一致しません。

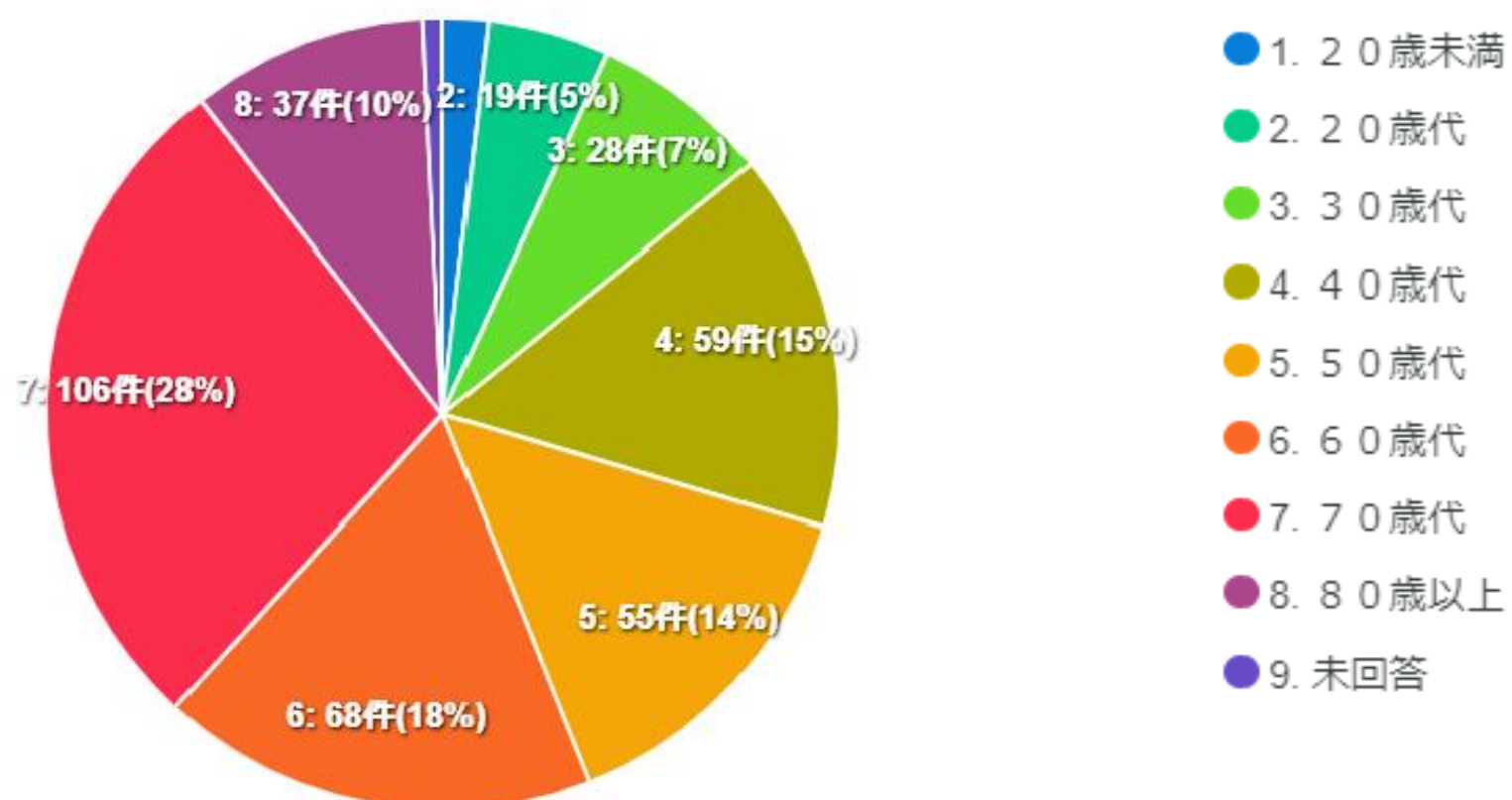
回答数推移



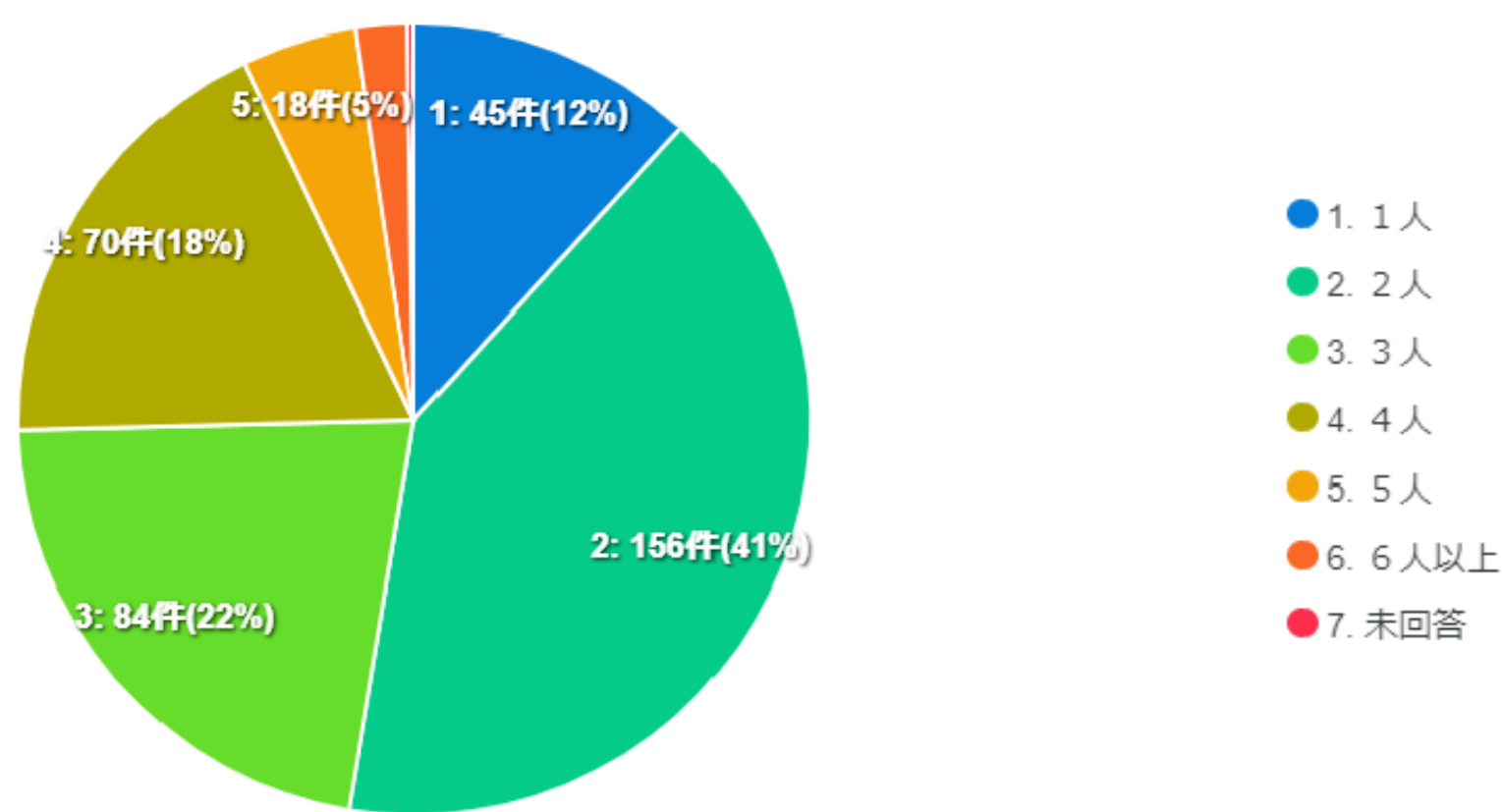
あなたの性別を教えてください。



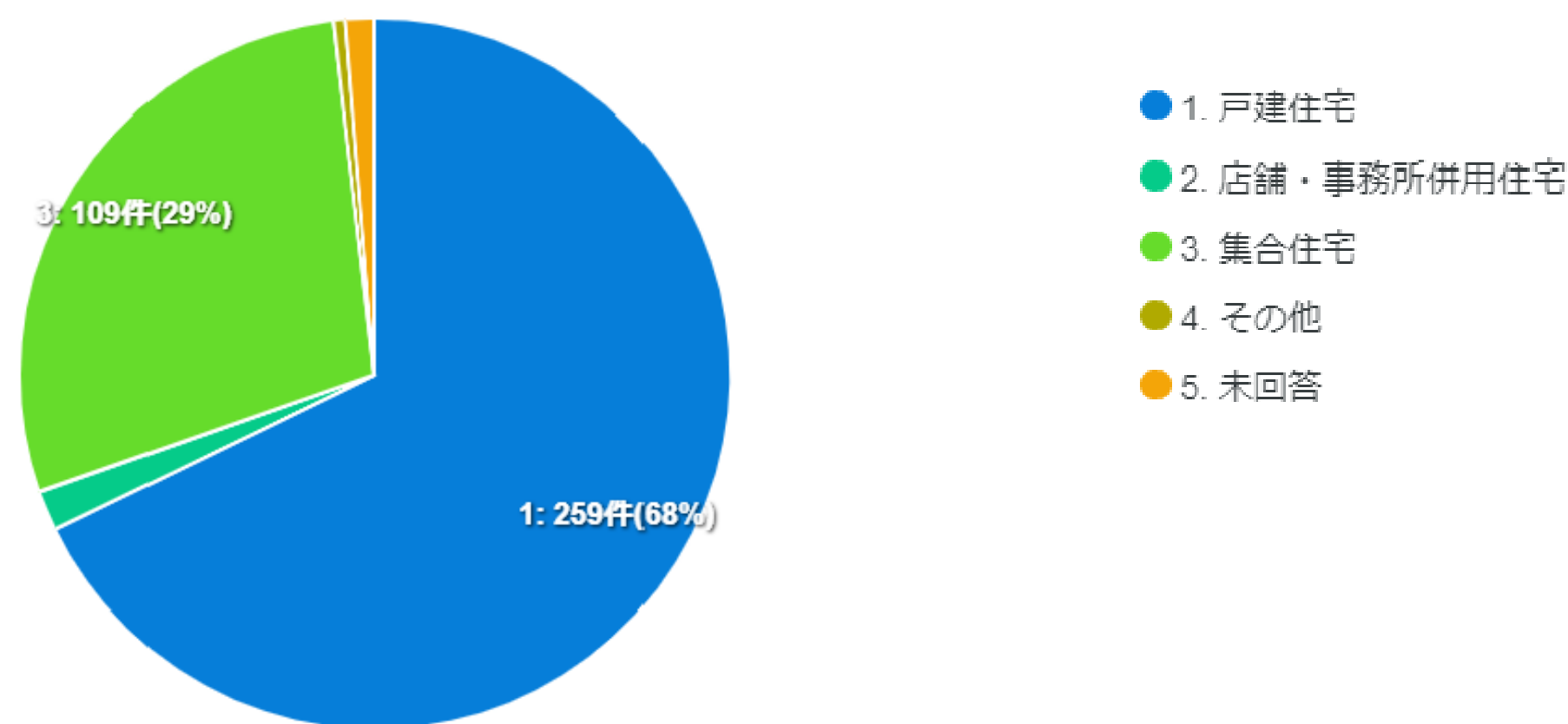
あなたのご年齢を教えてください。



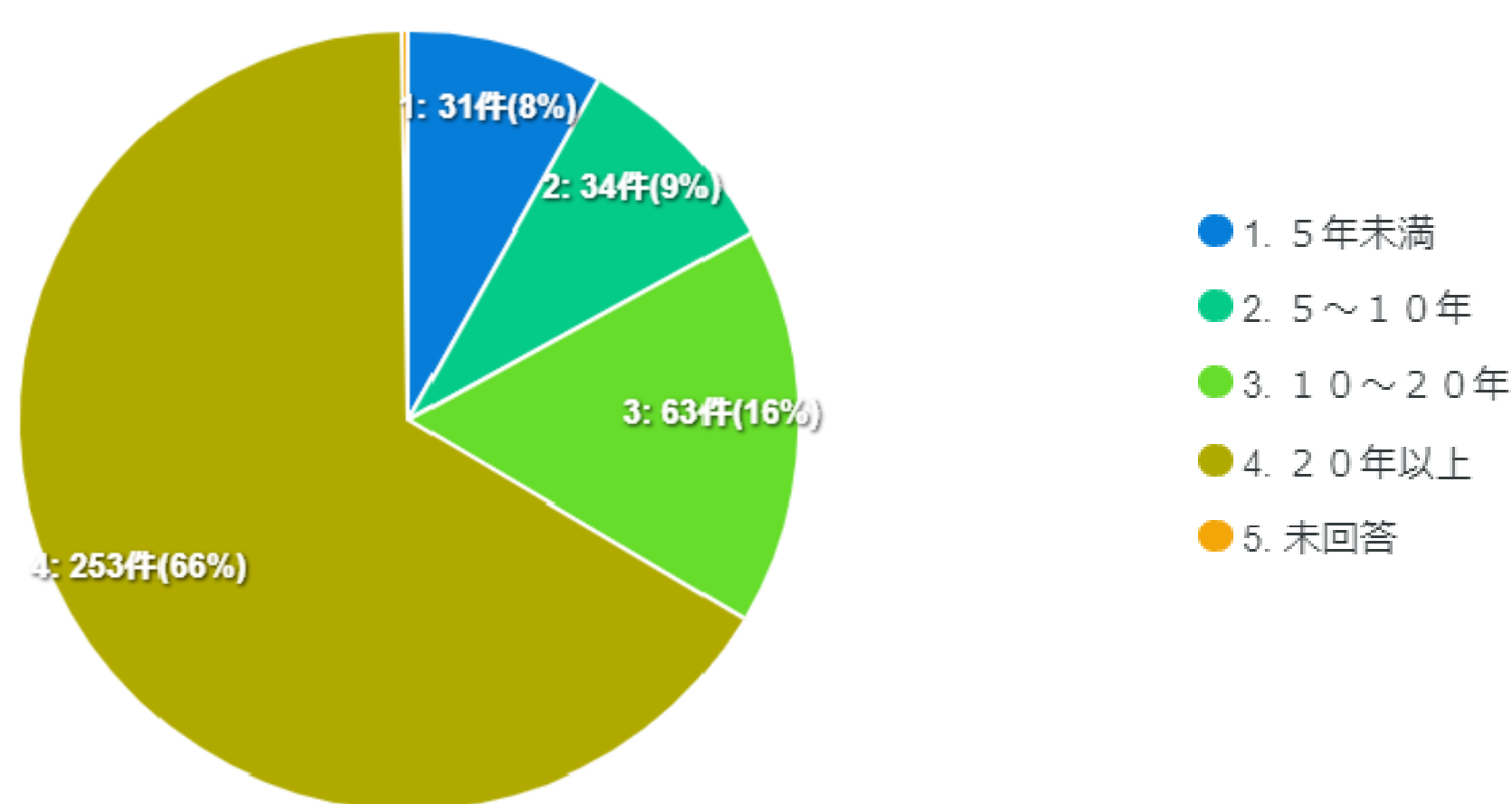
ご回答者を含めた居住者の人数を教えてください。



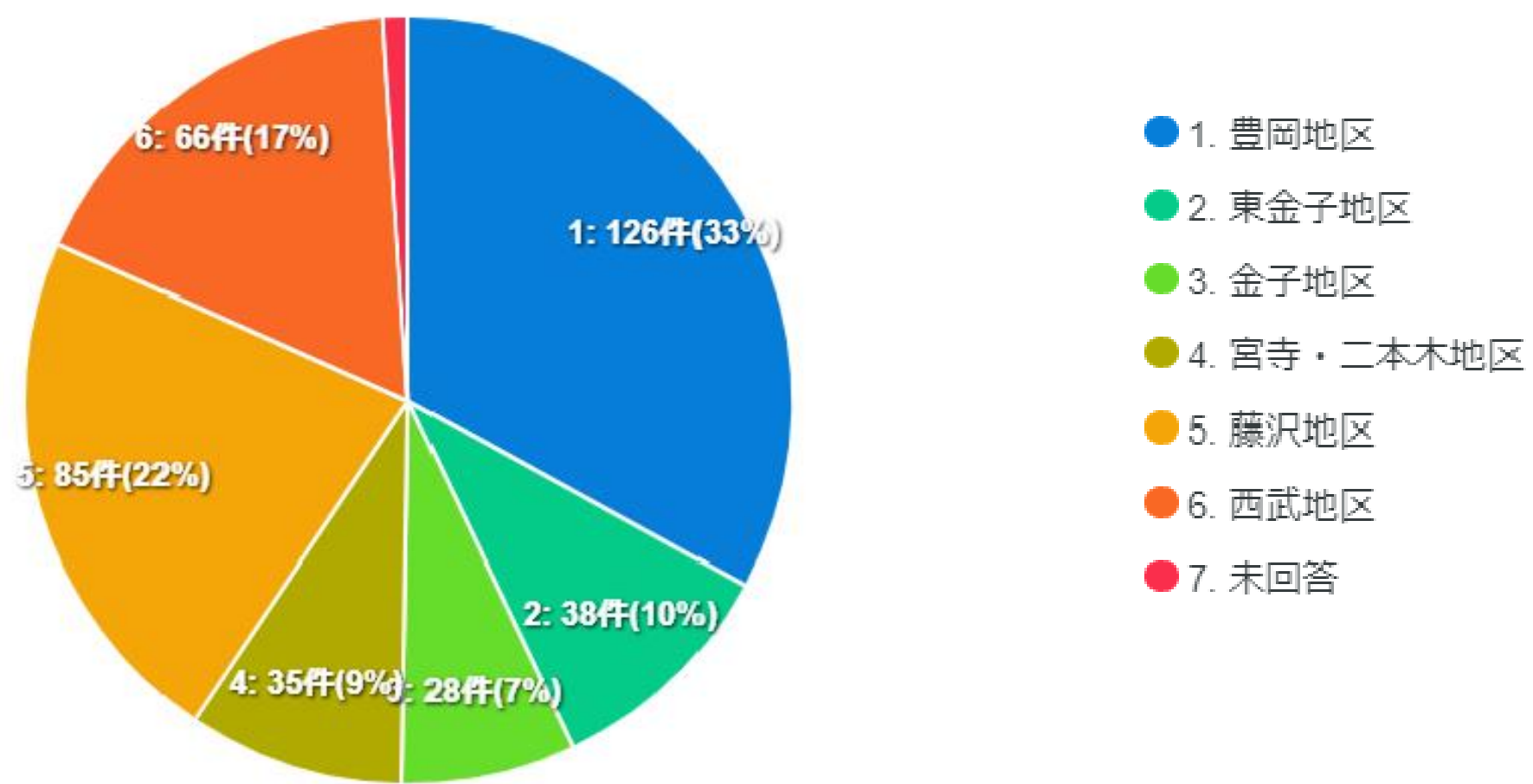
あなたの居住形態を教えてください。



入間市の居住年数を教えてください。

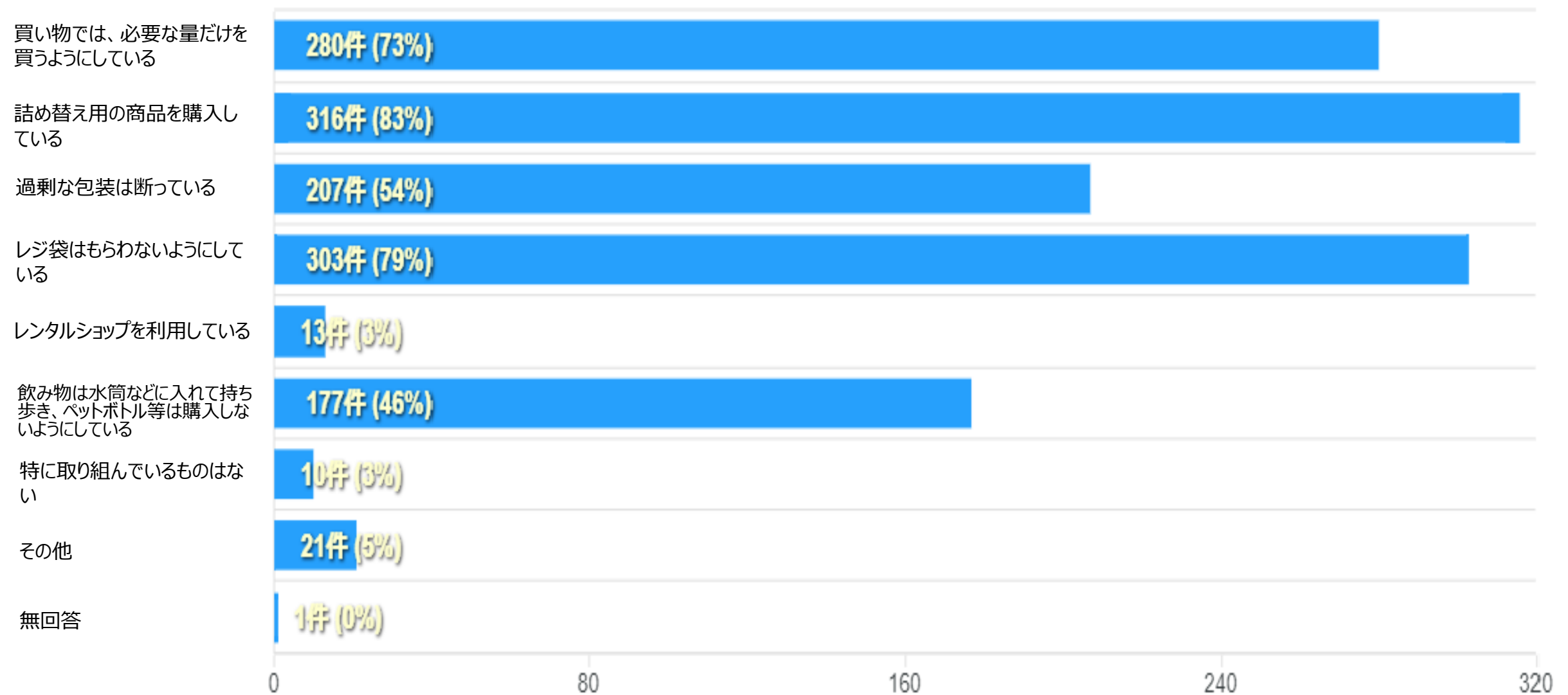


お住いの地区を教えてください。



問 2

ごみ発生抑制（リデュース）のために取り組んでいることは、次のうちどれですか。（複数回答可）

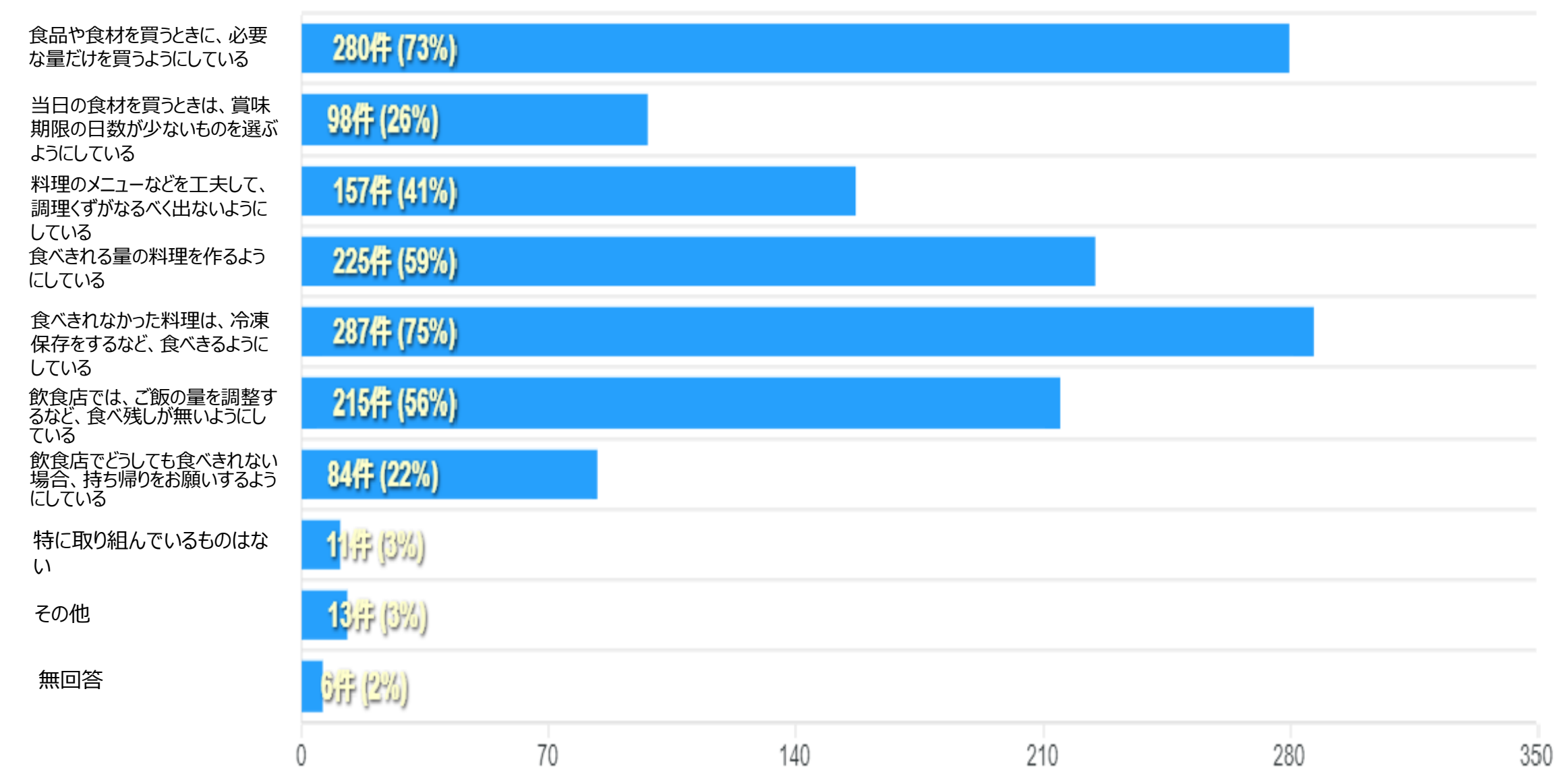


問 3

「食品ロス」削減の取り組みについてお聞きします。

「食品ロス」とは、家庭やお店での食べ残しや賞味期限が切れて食べられずに捨てられてしまう食品のことを言います。

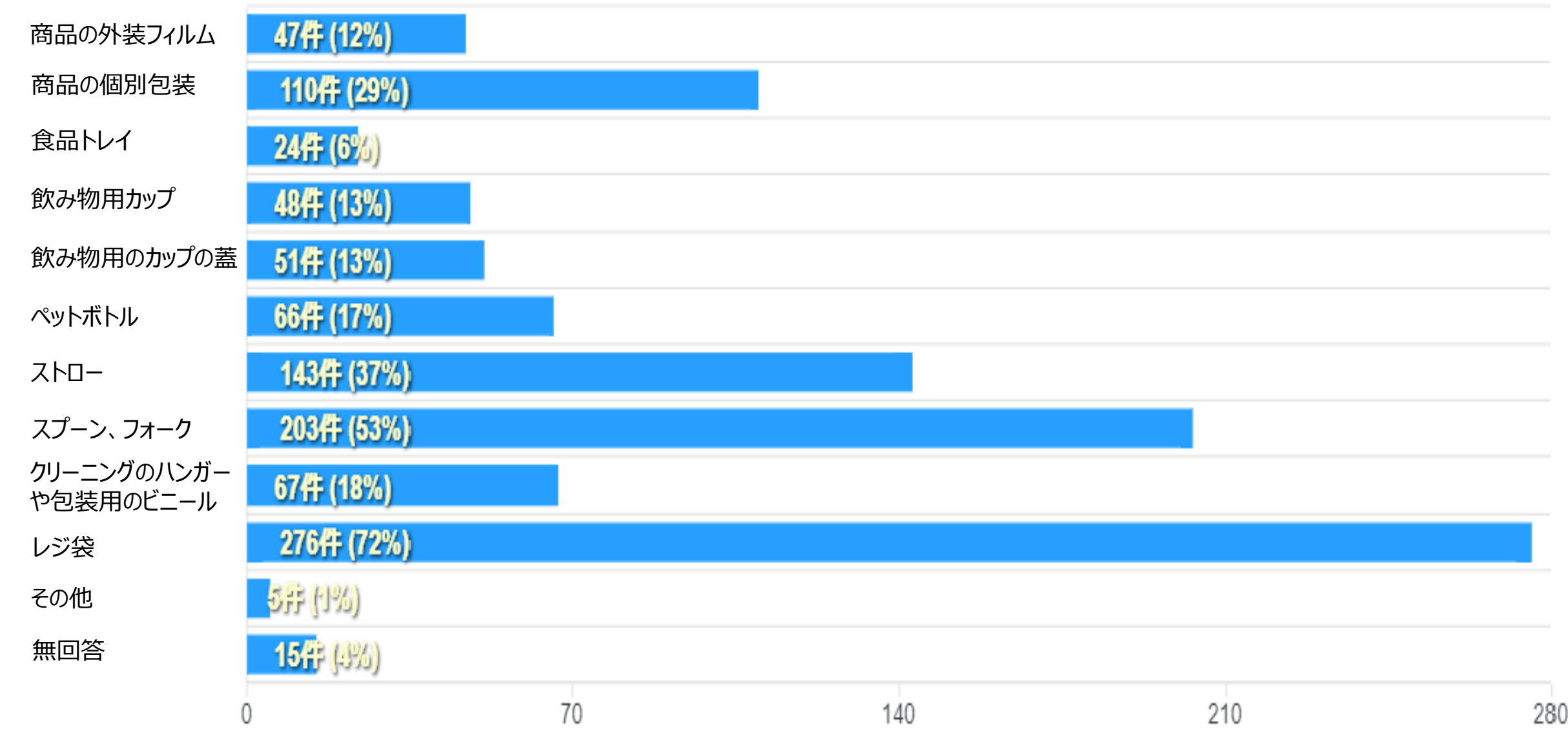
あなたは食品ロスを減らすためにどのような取組をしていますか。（複数選択可）



問 4

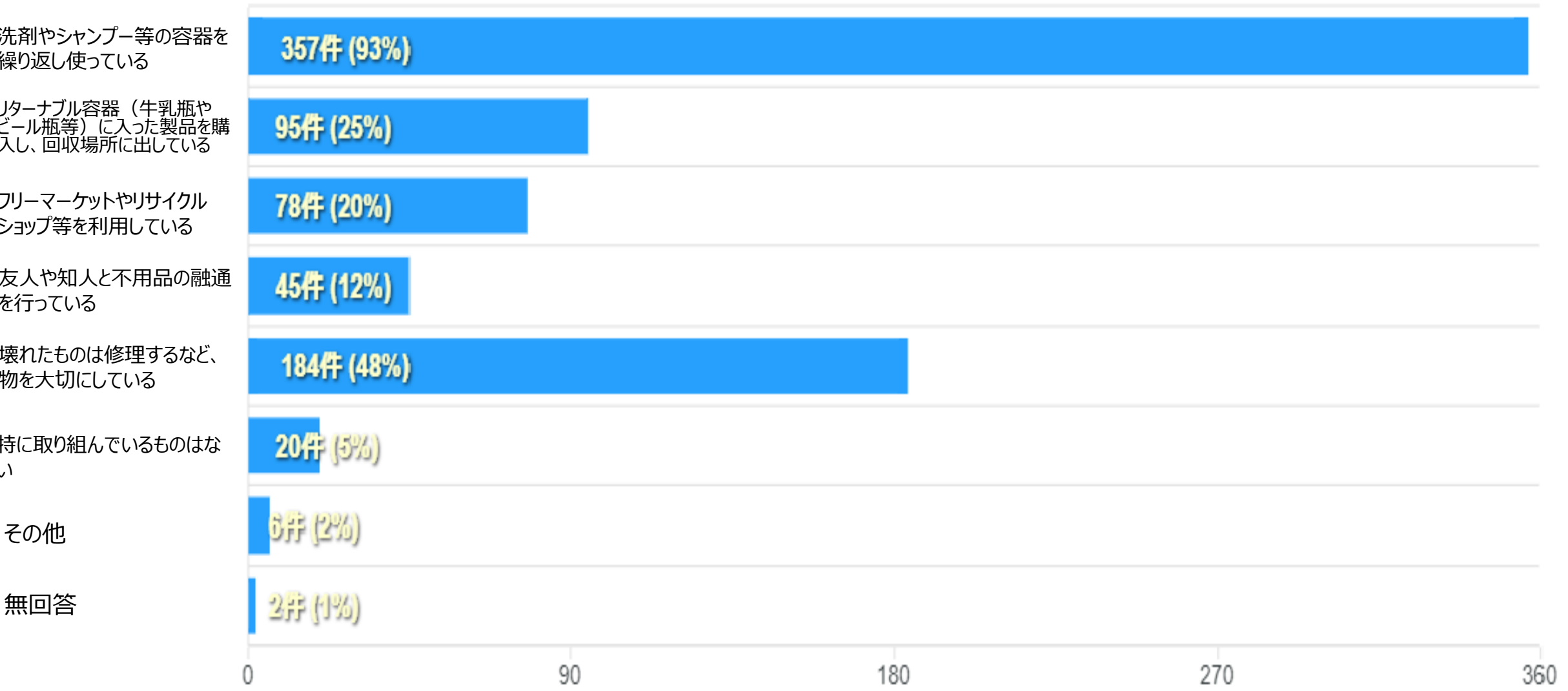
プラスチックごみの削減の取り組みについてお聞きます。

あなたが極力使わない、受け取らないようにしている「使い捨てプラスチック」はどれでしょうか。（複数回答可）



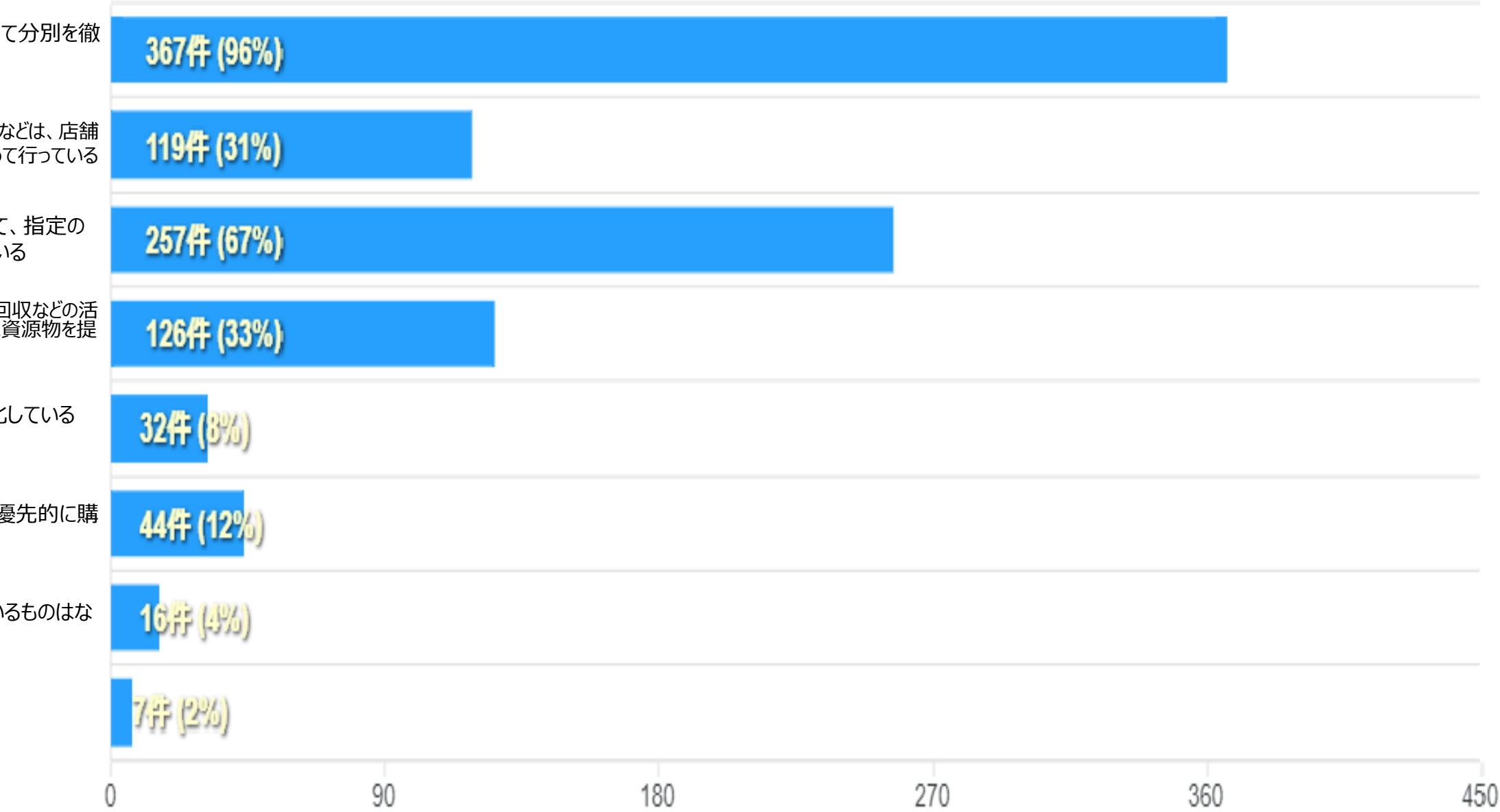
問 5

再利用（リユース）のために取り組んでいることは、次のうちどれですか。（複数回答可）



問 6

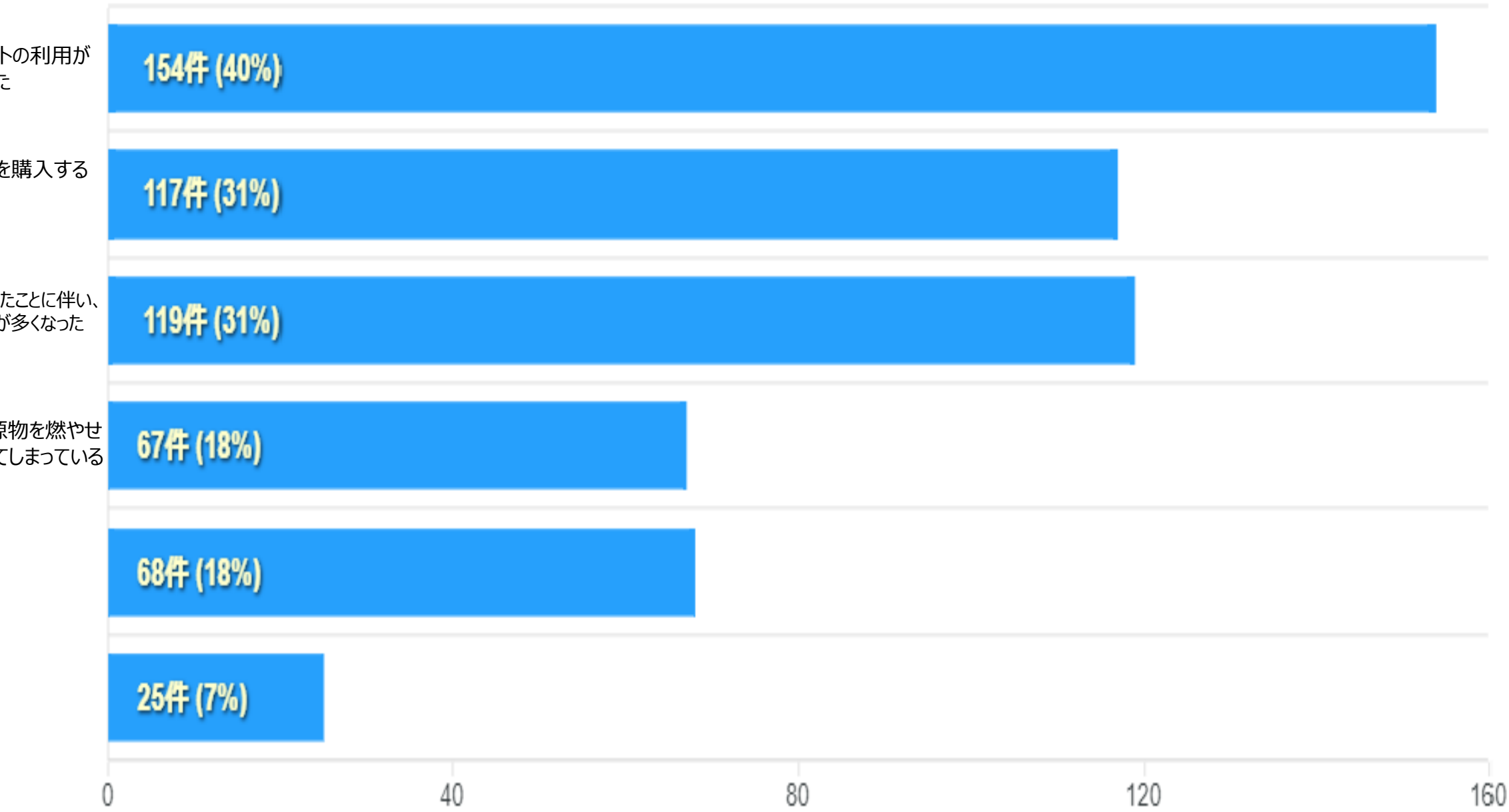
資源化（リサイクル）のために取り組んでいることは、次のうちどれですか。（複数選択可）



問 7

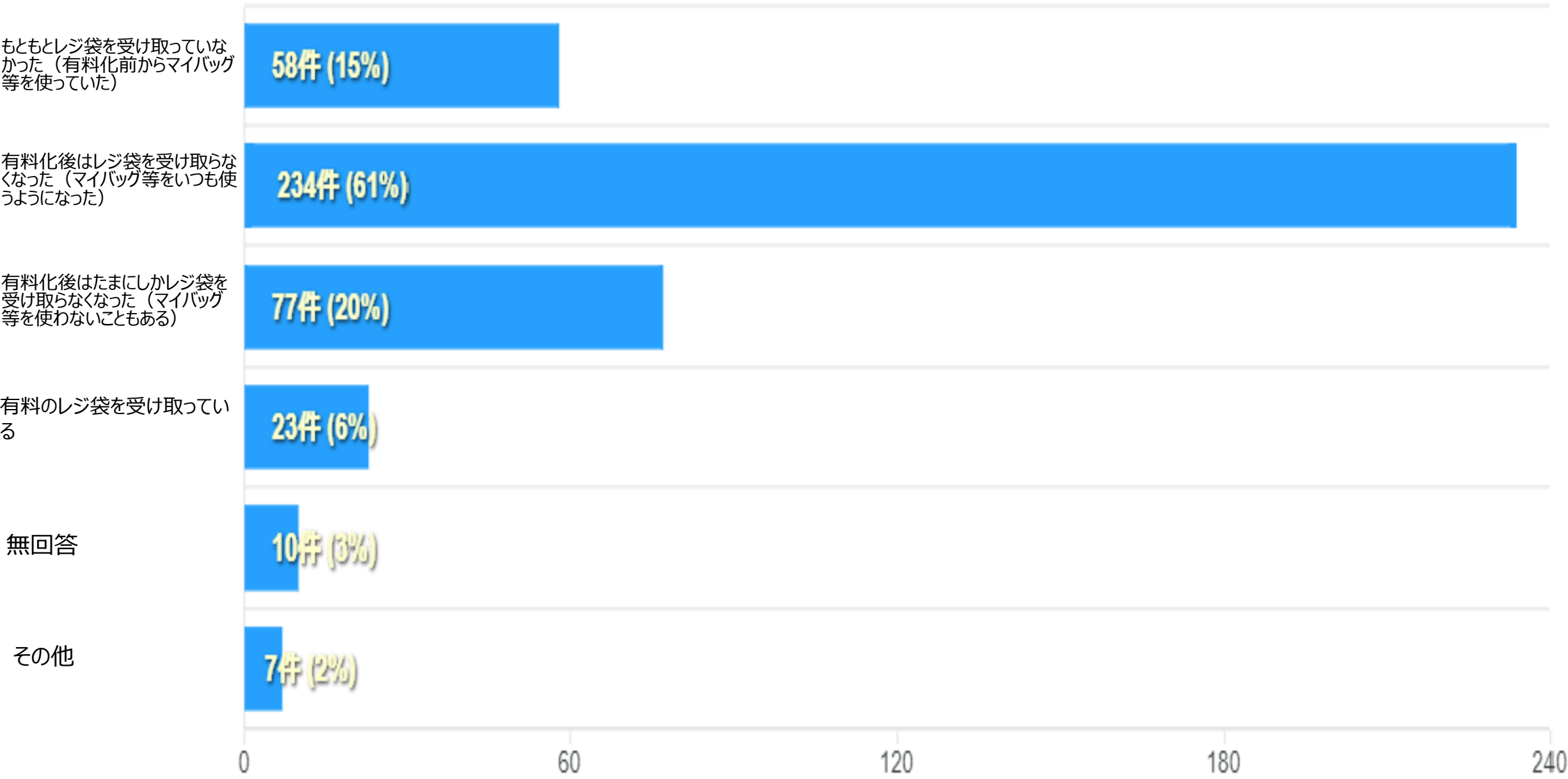
家庭ごみが増える原因として考えられることについてお聞きます。

あなたの普段の生活の中で、当てはまることは次のうちどれですか。（複数回答可）



問 8

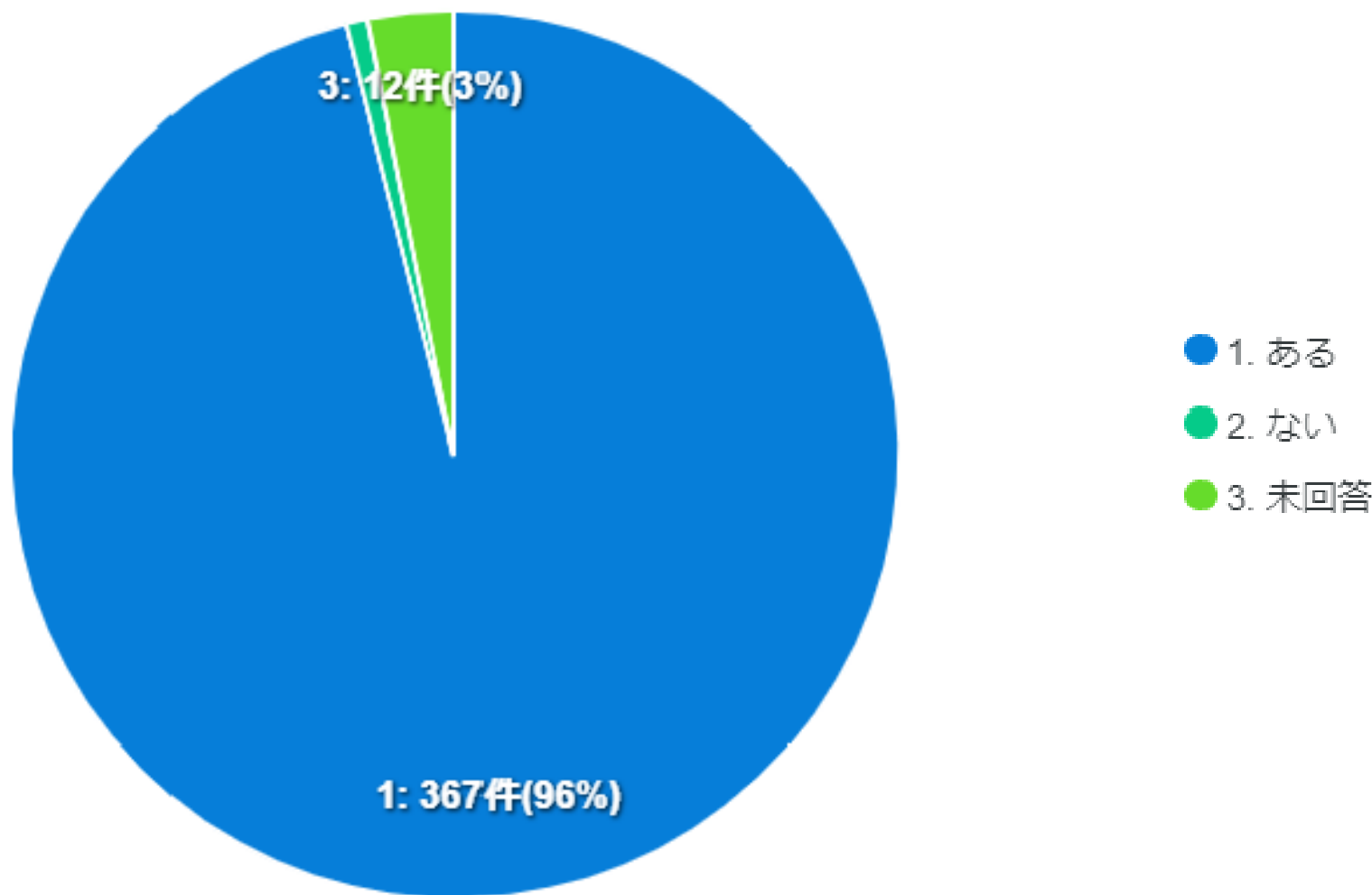
令和 2 年（ 2 0 2 0 年）の 7 月から全国でレジ袋の有料化が始まりました。レジ袋有料化をきっかけとして変わったあなたの行動で、最も近いものは次のうちどれですか。（ 1 つだけ選択）



問 9

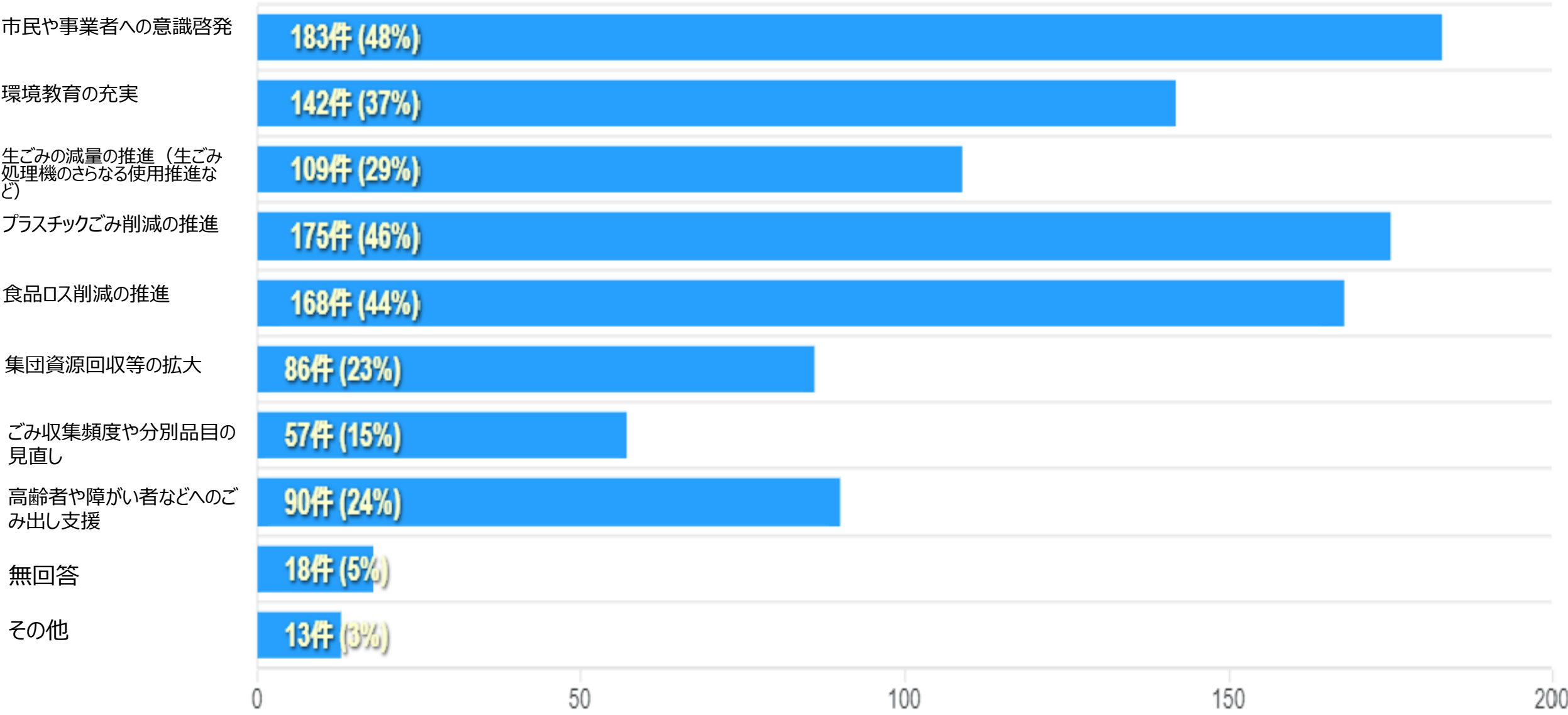
ごみの減量や資源化に対する認識についてお聞きます。

地球温暖化対策として、ごみの減量や資源化が必要であるという認識はありますか。



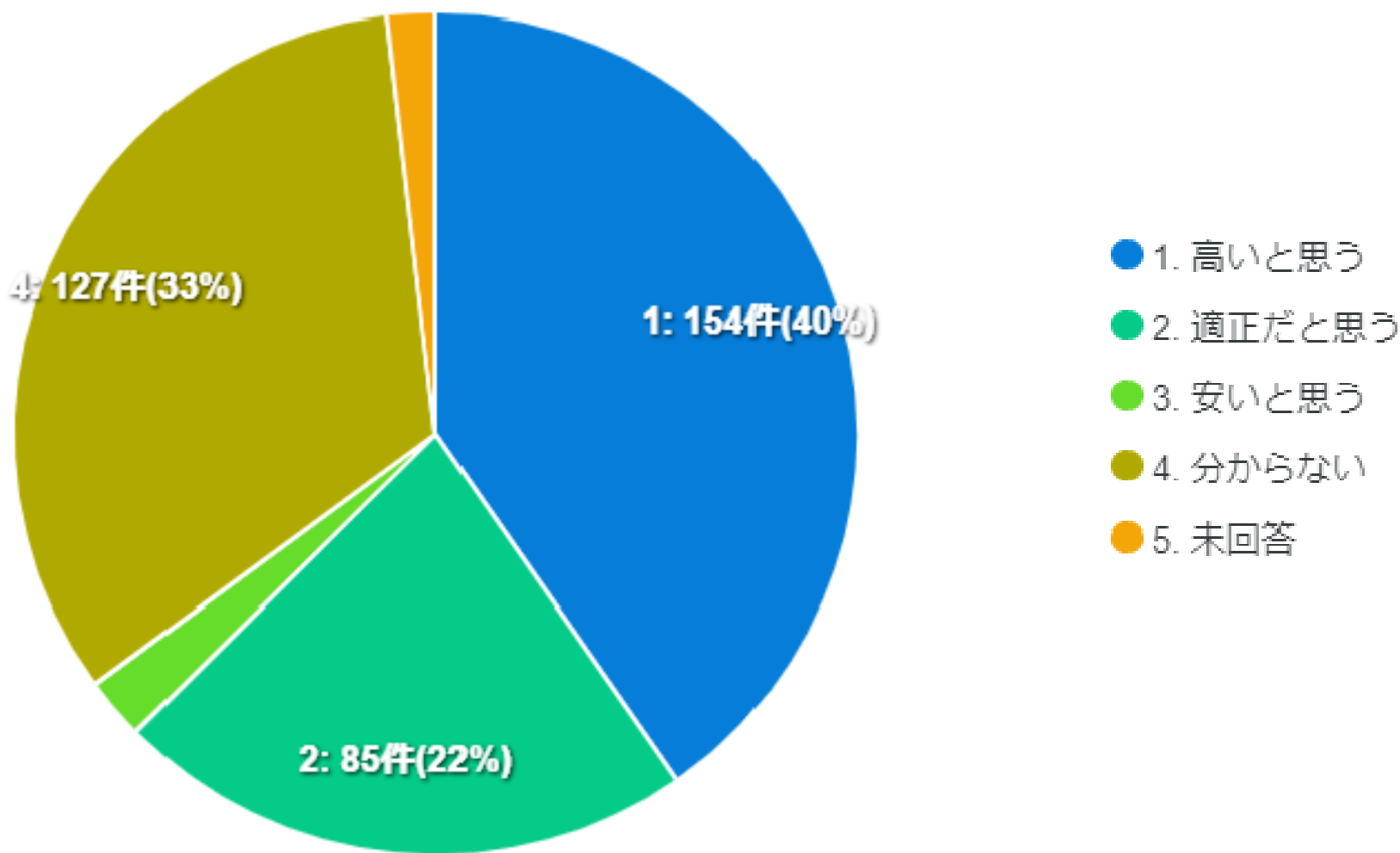
問 1 0

ごみの減量や資源化に関して、市でもっと推進すべき施策は何だと思われますか。（複数選択可）



問 1 1

入間市で1年間に処理をするごみの量は約4万3千トンです。そのごみを処理するためにおおよそ16億円の費用がかかっています。これは、年間一人あたり約1万1千円、一世帯当たり約2万4千円になる計算です。この費用についてどう思いますか。（1つだけ選択）

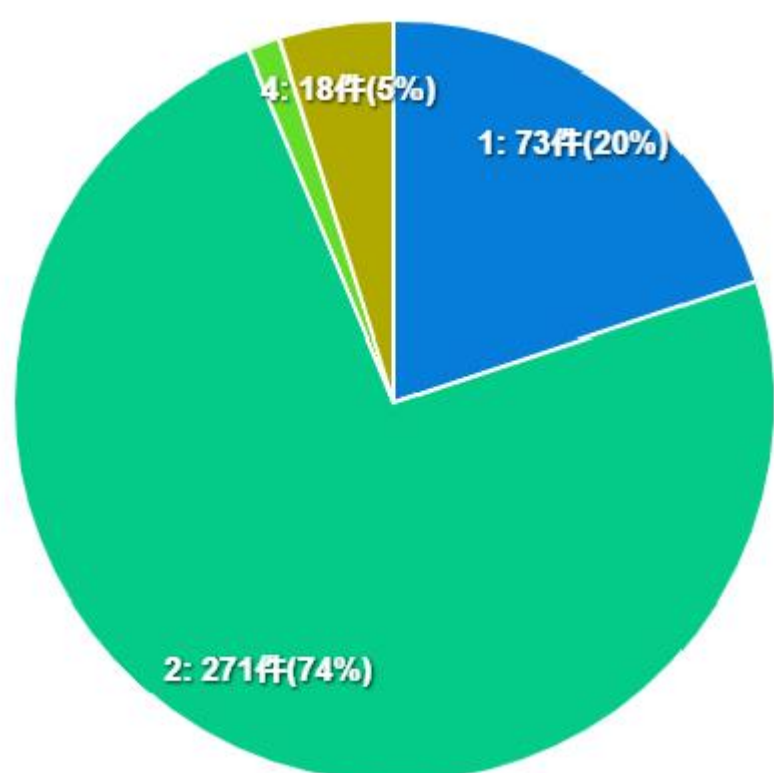


問 1 2

入間市の収集頻度について、当てはまる番号に○をつけてください。（分別区分ごとに1つだけ選択）

問 1 2 - 1

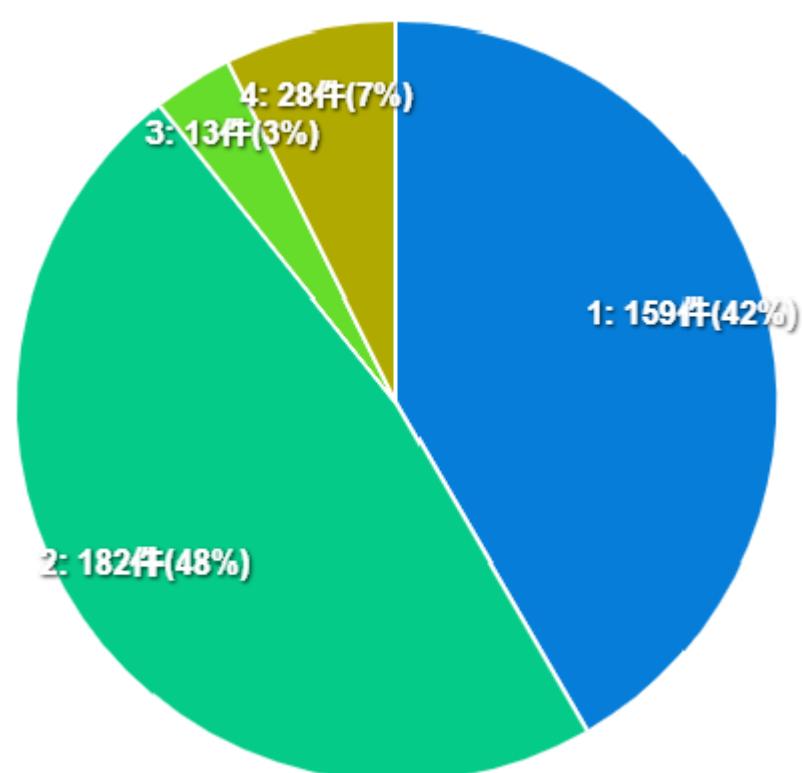
可燃ごみの収集回数 週 3 回



- 1. 回数を減らしてほしい
- 2. 適切
- 3. 回数を増やしてもよい
- 4. 未回答

問 1 2 - 2

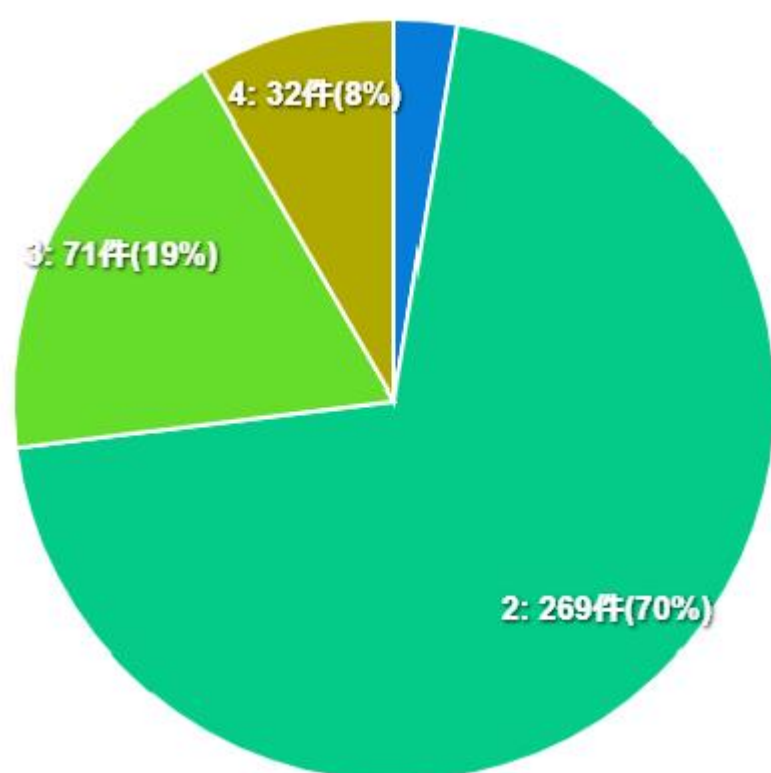
不燃ごみの収集回数 月 4 回



- 1. 回数を減らしてほしい
- 2. 適切
- 3. 回数を増やしてもよい
- 4. 未回答

問 1 2 - 3

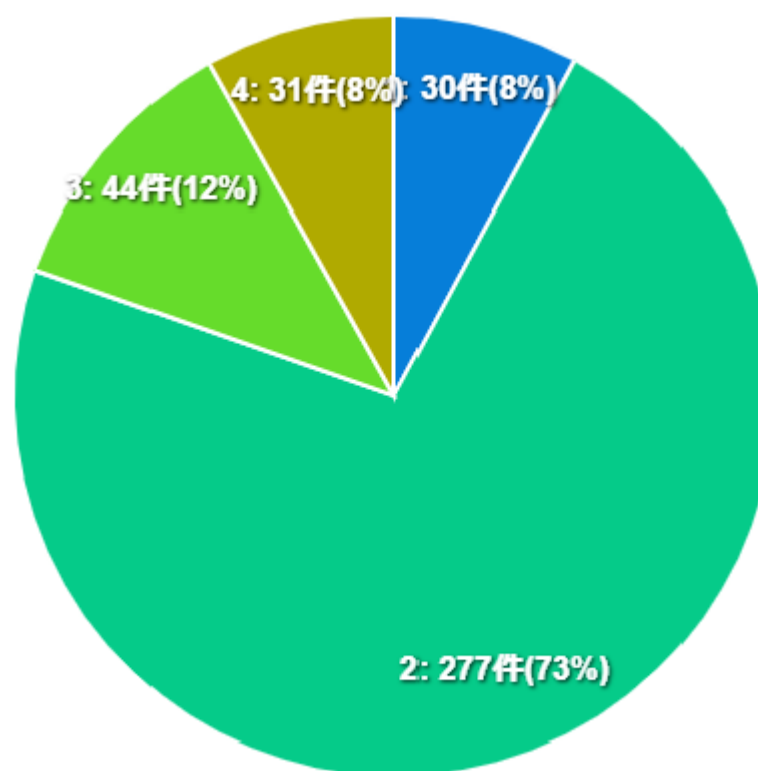
ビニール・プラスチック類の収集回数 週 1 回



- 1. 回数を減らしてほしい
- 2. 適切
- 3. 回数を増やしてもよい
- 4. 未回答

問 1 2 - 4

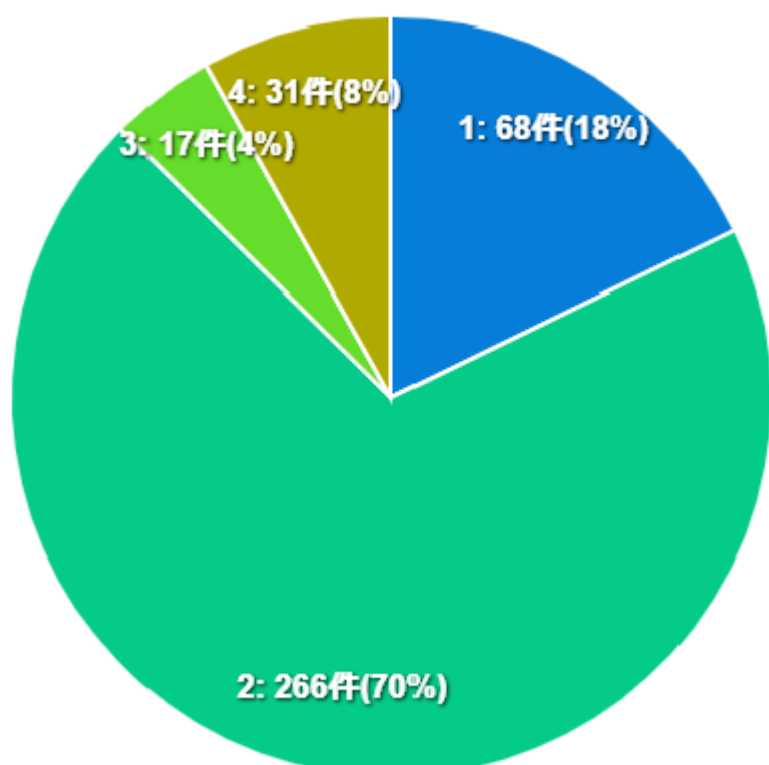
びん・かん・ペットボトルの収集回数 月 2 回



- 1. 回数を減らしてほしい
- 2. 適切
- 3. 回数を増やしてもよい
- 4. 未回答

問 1 2 - 5

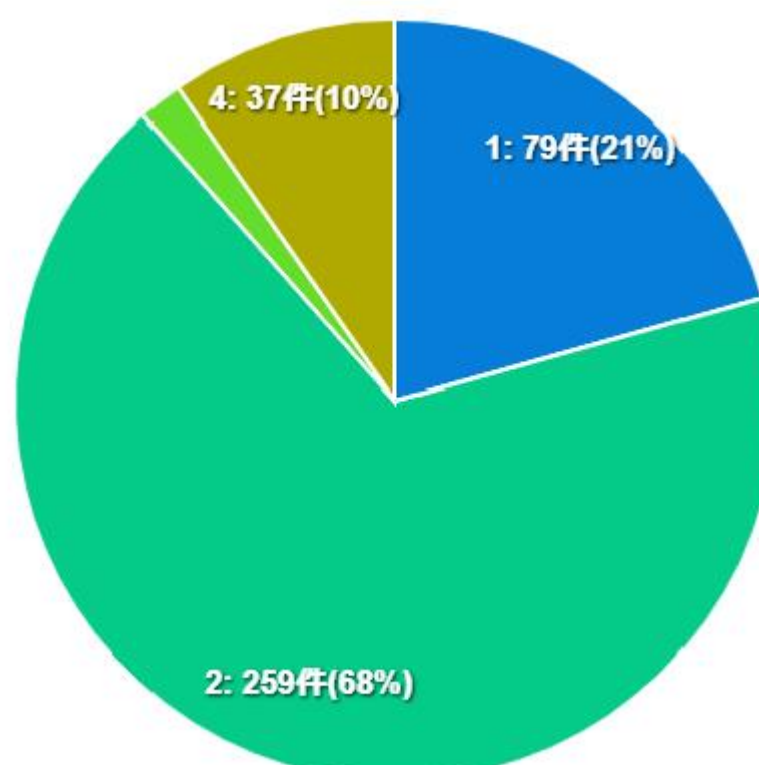
古布・紙類の収集回数 月 2 回



- 1. 回数を減らしてほしい
- 2. 適切
- 3. 回数を増やしてもよい
- 4. 未回答

問 1 2 - 6

有害ごみの収集回数 月 2 回



- 1. 回数を減らしてほしい
- 2. 適切
- 3. 回数を増やしてもよい
- 4. 未回答

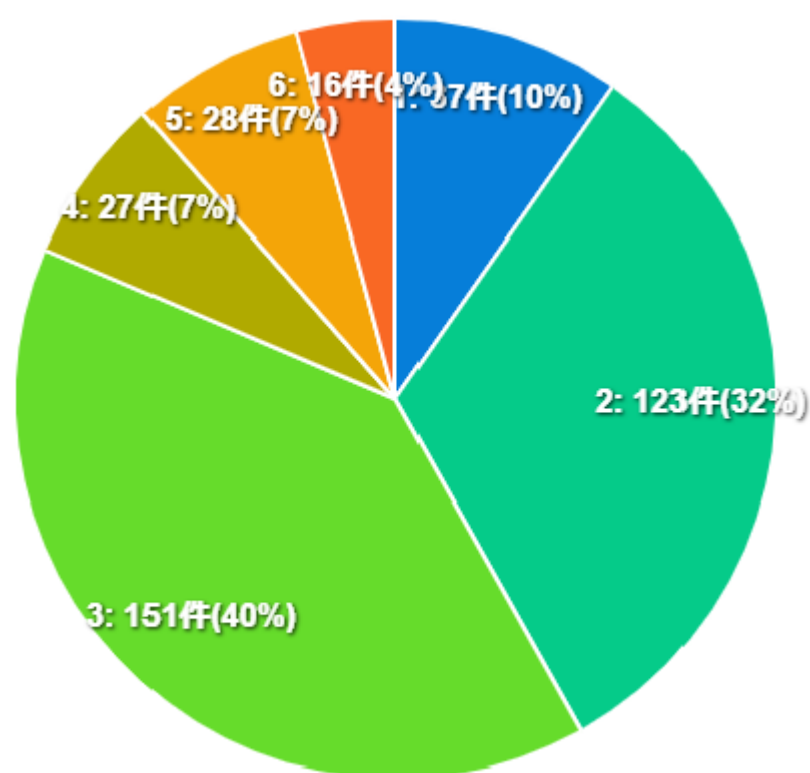
問 1 3

家庭ごみの有料化制度についてお聞きます。

ごみの減量や資源化を推進するために、家庭ごみの有料化制度の導入も含めて、現在、様々な施策を検討しているところです。家庭ごみの有料化制度とは、自治体指定のごみ袋を購入すること等により、各家庭から排出されるごみの処理費用の一部を負担していただく仕組みです（びん・かん・古紙等の資源物は有料の対象外としているところが多くあるようです）。

ごみの有料化を実施した場合、ごみの発生抑制・再使用・再生利用をより身近なこととして意識していただくことで、さらなるごみ減量・資源化が期待できます。また、多くごみを出す場合は費用の負担が大きくなり、反対にごみ量が少ない場合は負担が小さくなることから、ごみ処理費用の負担が公平になります。ごみの有料化について、あなたはどのように考えますか。

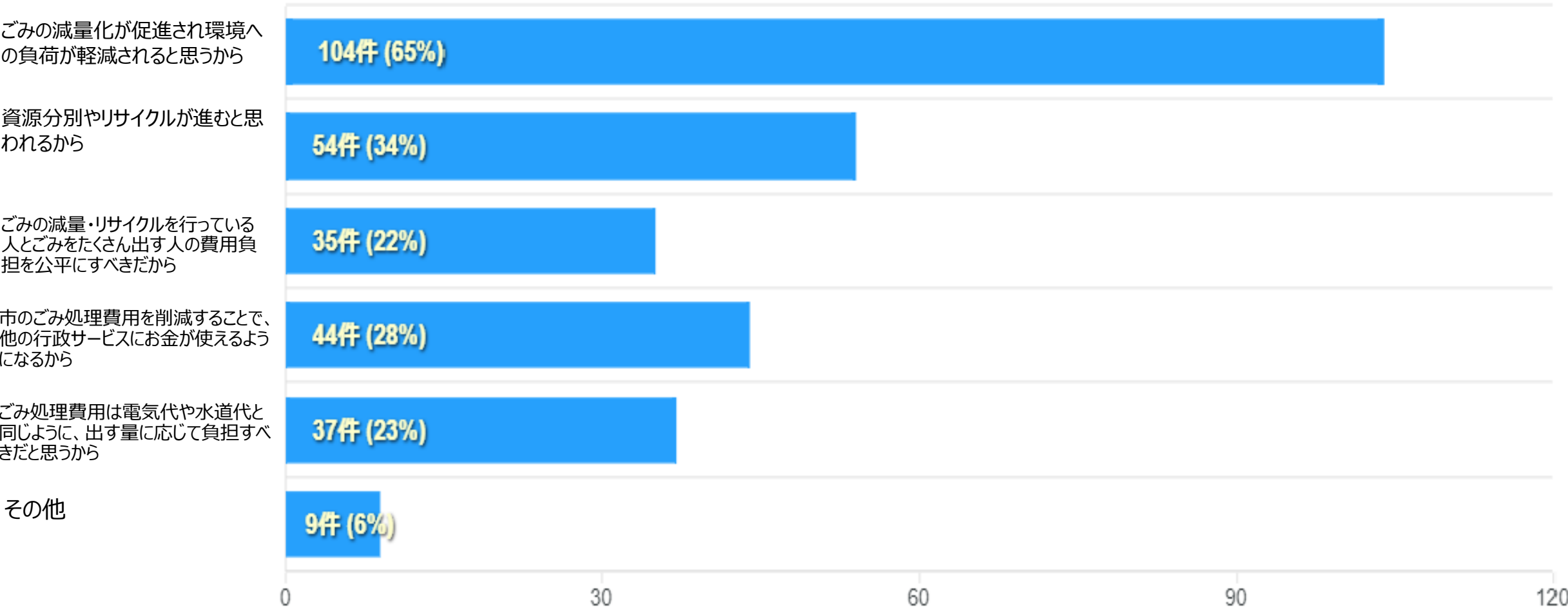
（ 1 つだけ選択）



- 1. 導入すべきである
- 2. ごみが減るならやむを得ない
- 3. 導入すべきではない
- 4. どちらでもよい
- 5. わからない
- 6. 未回答

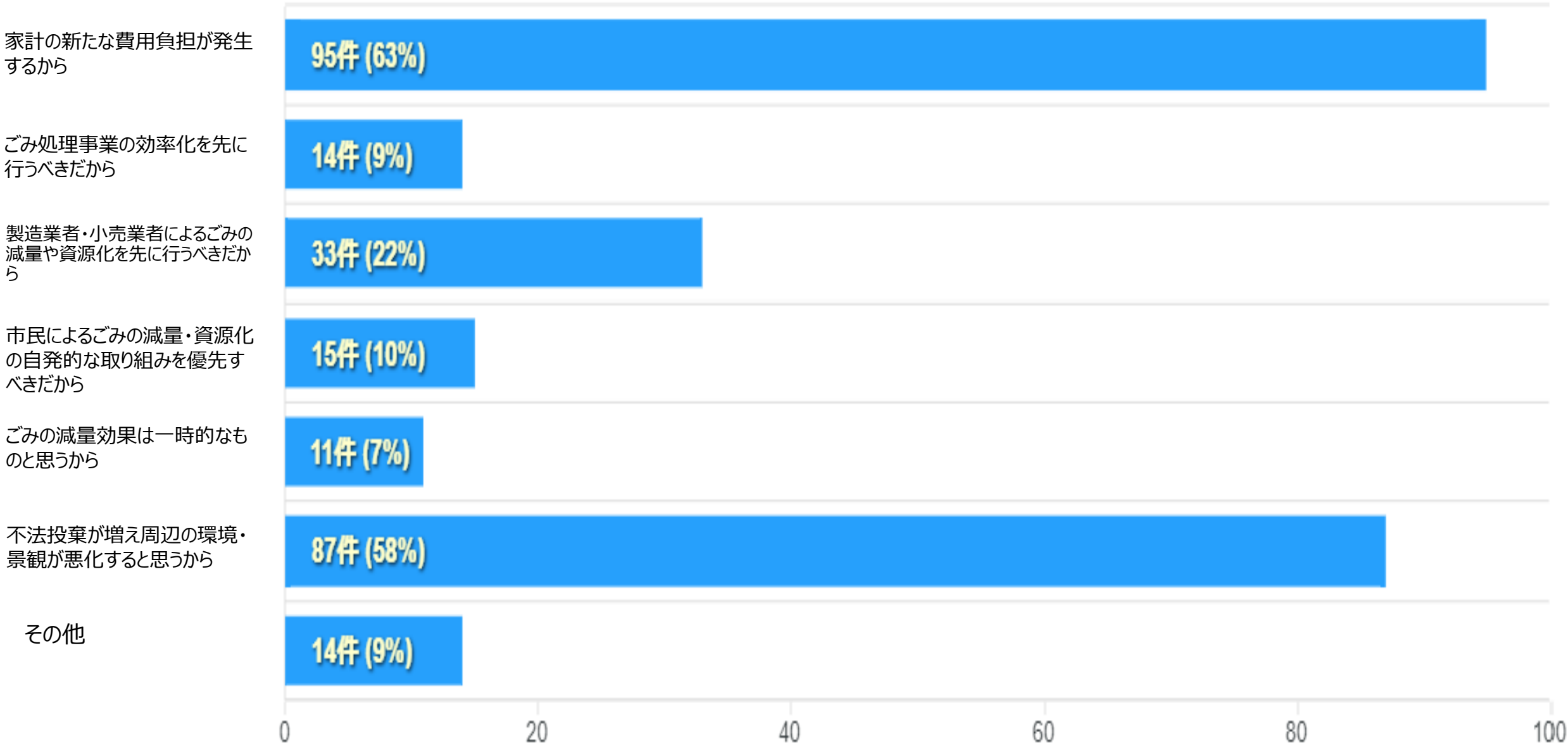
問 1 4

問 1 3 で、「導入すべきである」、「ごみが減るならやむを得ない」を選んだ方にお聞きます。
主な理由は次のうちどれでしょうか。（ 2 つまで選択）



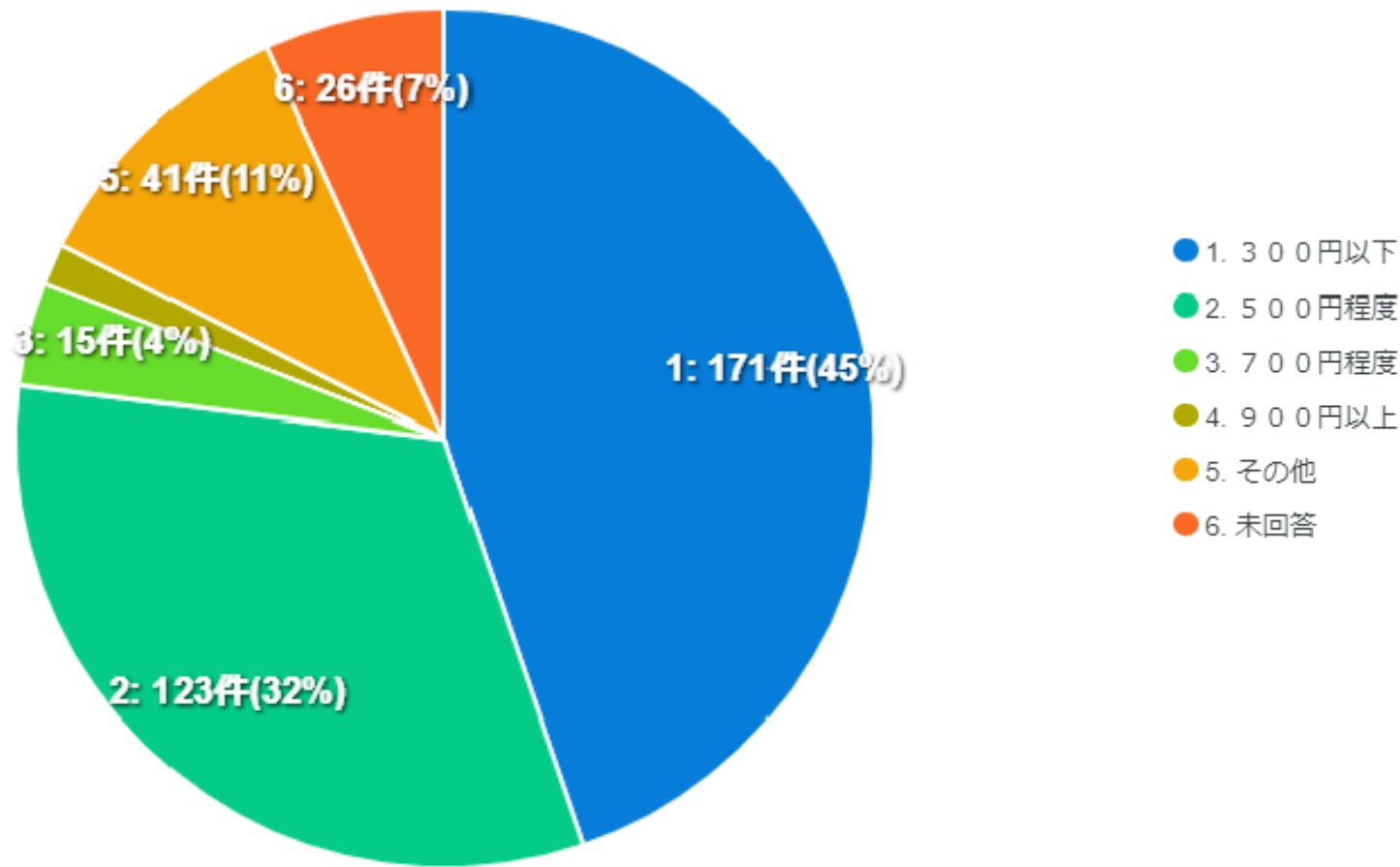
問 1 5

問 1 3 で、「導入すべきではない」、を選んだ方にお聞きます。主な理由は次のうちどれでしょうか。（ 2 つまで選択）



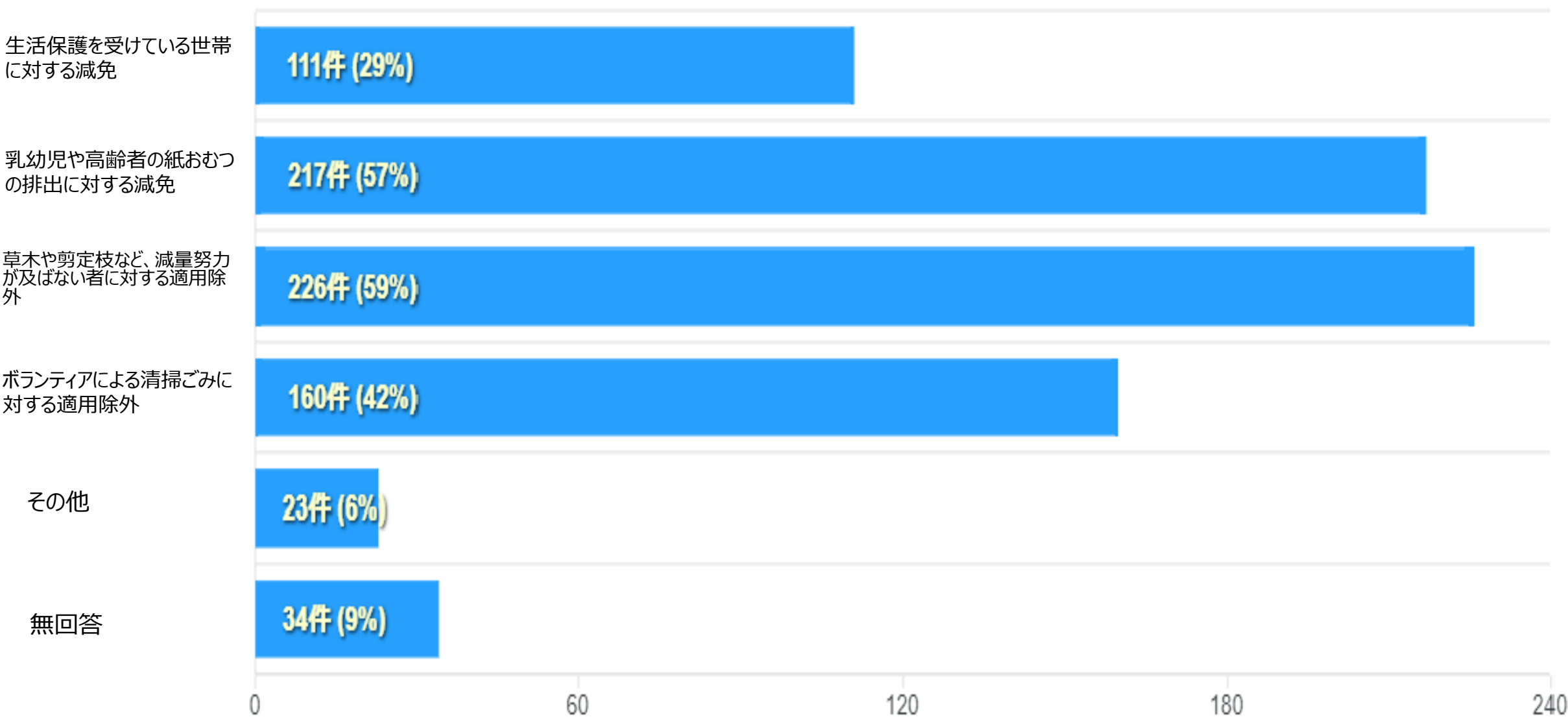
問 1 6

ごみの有料化についてお聞きます。あなたにとってごみを少なくする意識が働き、かつ経済的にも負担してもよいと思われる金額は、一世帯 1 ヶ月あたりどのくらいが適切だと思いますか。



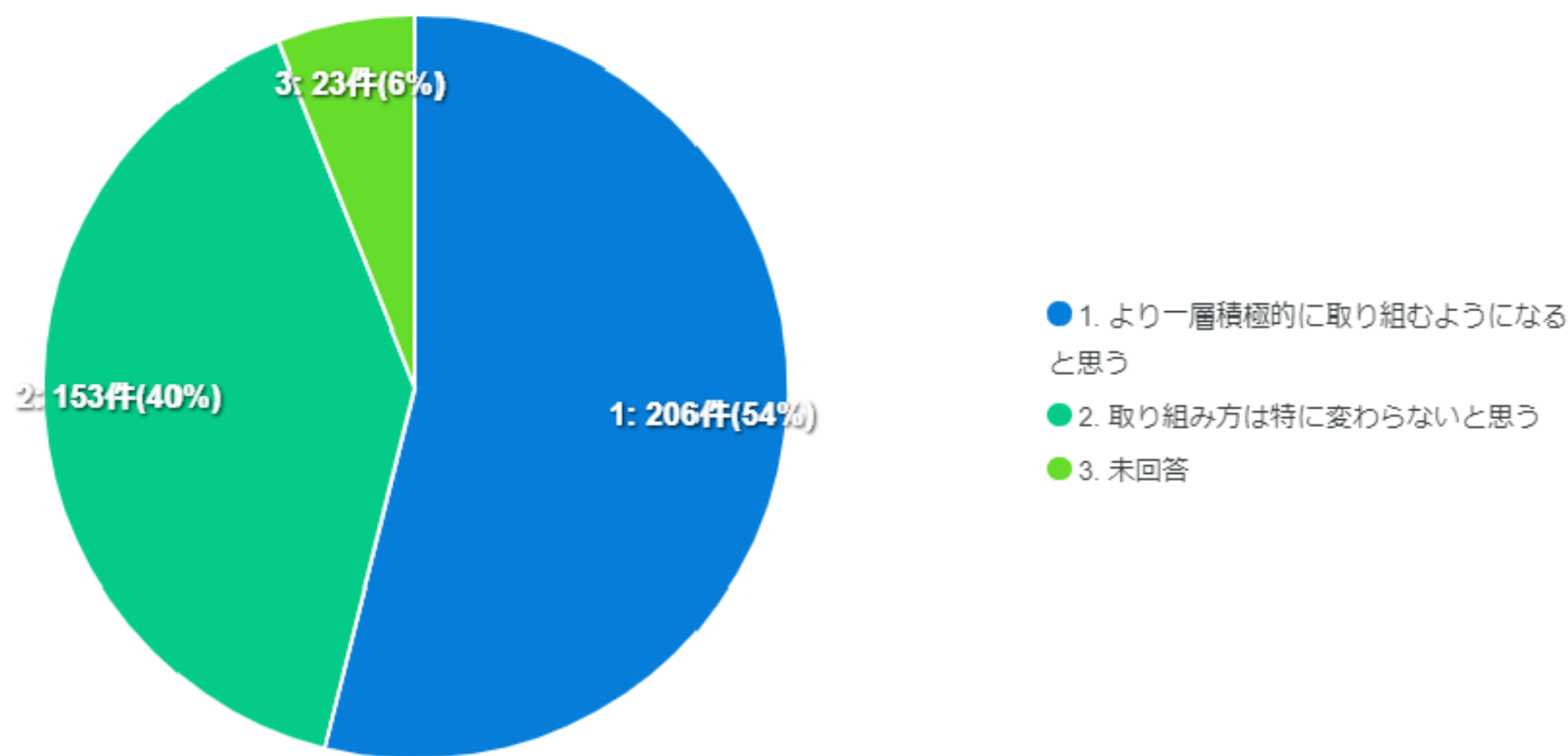
問 1 7

家庭ごみの有料化が導入された場合、どのような経済的・社会的配慮が必要だと思いますか。（複数選択可）



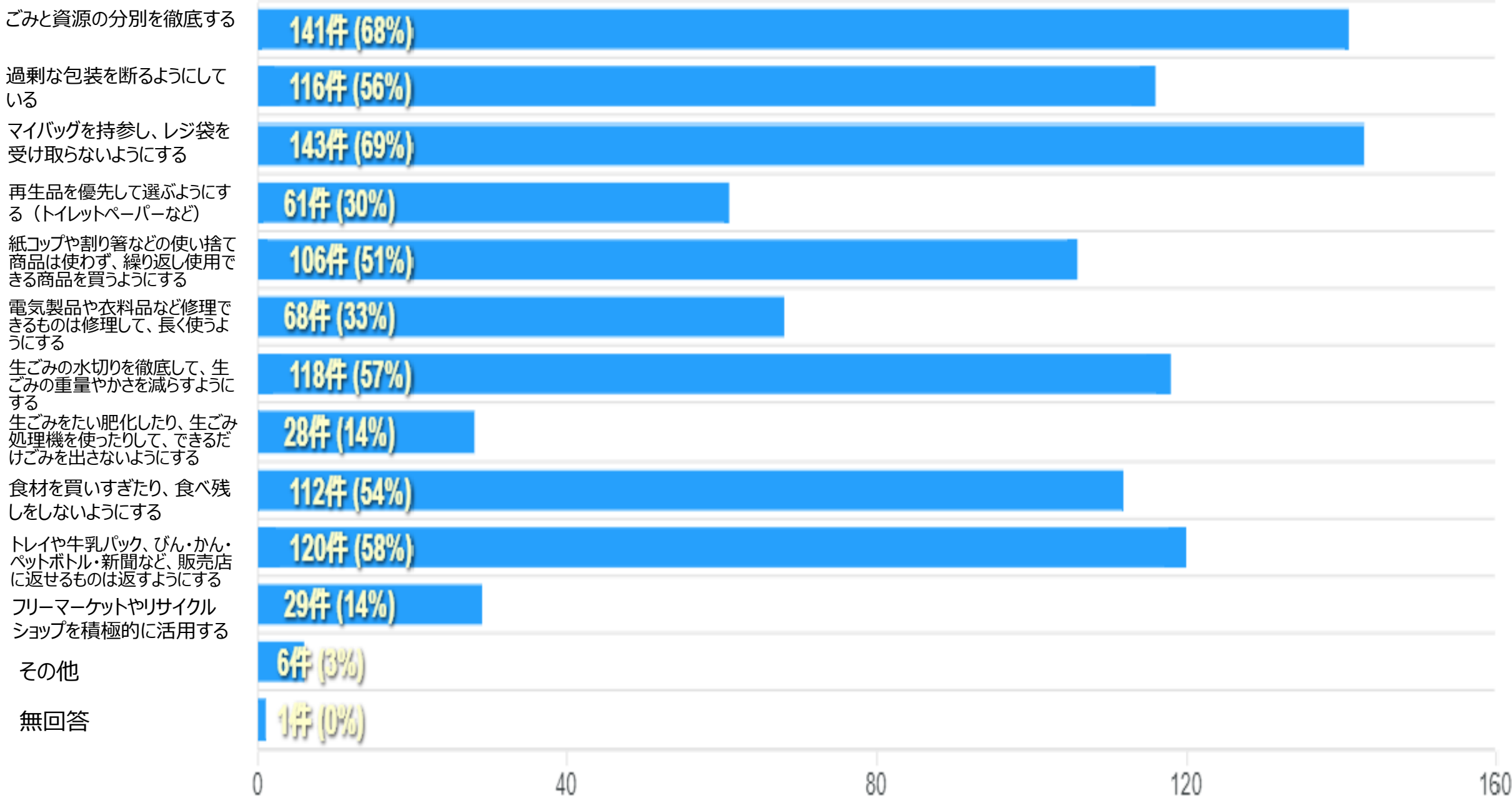
問 1 8

ごみ有料化が導入された場合の意識についてお聞きます。もし家庭ごみの有料化が導入された場合、あなたのごみ減量や資源化に対する取り組み方は変わりますか。（１つだけ選択）



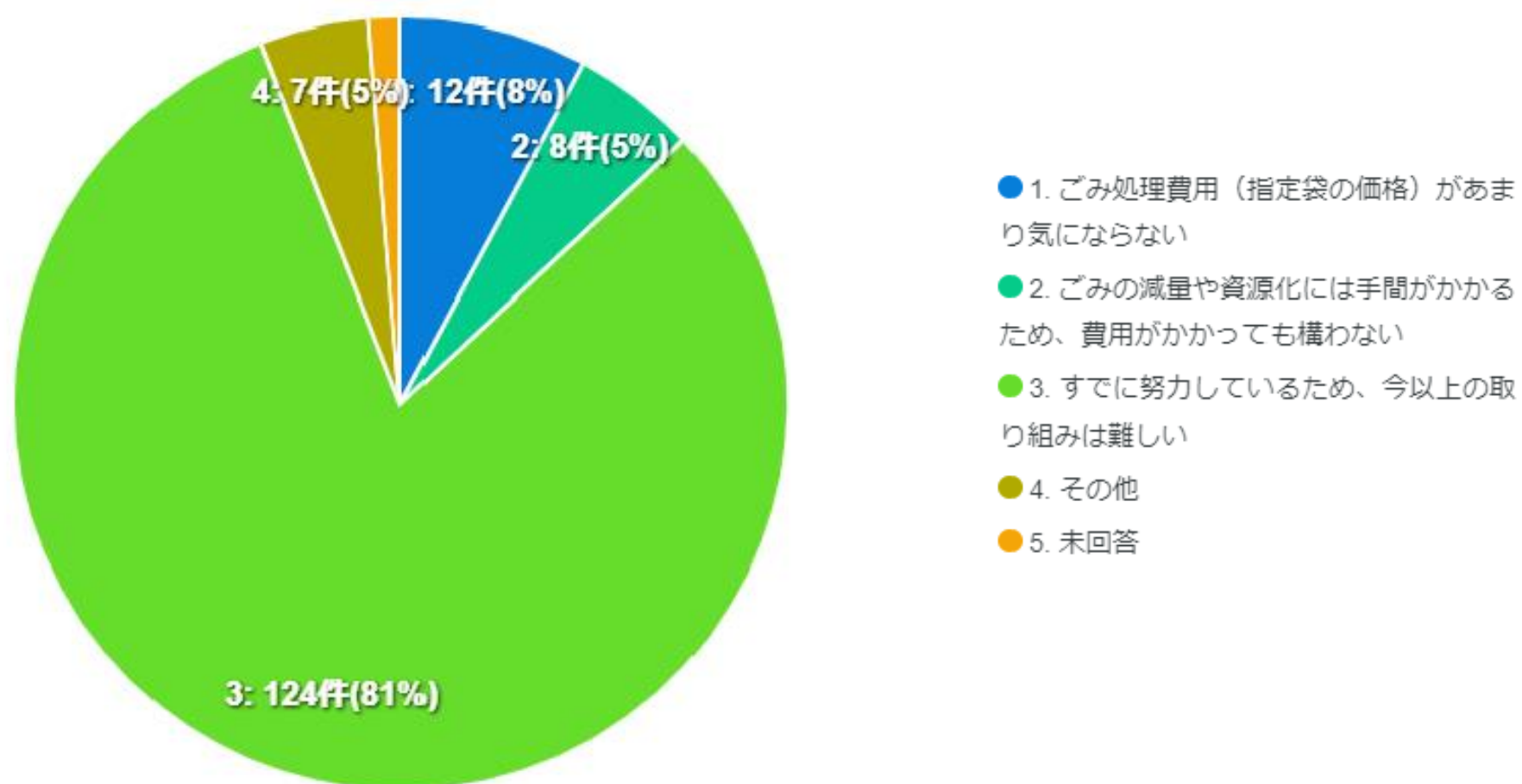
問 1 9

問 1 8 で、「より一層積極的に取り組むようになると思う」と答えた方にお聞きます。どのような取り組みを行いますか。（複数選択可）



問 2 0

問 1 8 で、「取り組み方は特に変わらないと思う。」と答えた方にお聞きします。主な理由は何ですか。
(1 つだけ選択)



ごみ減量化に関するアンケート調査結果 地区別クロス分析

お住いの地区に関連する、または回答に地区差が出てくる可能性の設問に対し、地区別のクロス分析を行いました。

【分析方法】

1 地区分けについて

総計 : (N = 382)

- | | | |
|-----------|---|-----------|
| ①豊岡地区 | : | (N = 126) |
| ②東金子地区 | : | (N = 38) |
| ③金子地区 | : | (N = 28) |
| ④宮寺・二本木地区 | : | (N = 35) |
| ⑤藤沢地区 | : | (N = 85) |
| ⑥西武地区 | : | (N = 66) |
| ⑦地区無回答 | : | (N = 4) |

2 分析結果の表示

地区ごとに差の見られた設問に対し、以下のとおり色付けしました。

- ・他地区と比較して割合が大きい : 赤枠
- ・他地区と比較して割合が小さい : 青枠

問 2

ごみ発生抑制（リデュース）のために取り組んでいることは、次のうちどれですか。（複数回答可）

地区ごとによって大きな差はありませんでした。リデュースの取り組みとして、「詰め替え用商品の購入」や、「レジ袋はもらわないように（マイバッグを持参）している」、という回答が多く見受けられました。また、豊岡地区や金子地区では、他の地区に比べ、「飲み物は水筒などに入れて持ち歩き、ペットボトルの購入をしないようにしている」、という回答が多い結果となりました。

%	買い物では、必要な量だけを買うようにしている	詰め替え用の商品を購入している	過剰な包装は断っている	レジ袋はもらわないようにしている	レンタルショップを利用している	飲み物は水筒などに入れて持ち歩き、ペットボトル等は購入しないようにしている	特に取り組んでいるものはない	その他	無回答
豊岡地区	75.4%	84.9%	57.1%	82.5%	4.0%	57.1%	1.6%	3.2%	0.0%
東金子地区	76.3%	78.9%	50.0%	84.2%	5.3%	36.8%	5.3%	15.8%	0.0%
金子地区	67.9%	78.6%	57.1%	78.6%	0.0%	53.6%	3.6%	3.6%	0.0%
宮寺・二本木地区	71.4%	77.1%	48.6%	80.0%	0.0%	34.3%	8.6%	0.0%	0.0%
藤沢地区	75.3%	84.7%	58.8%	82.4%	3.5%	38.8%	1.2%	3.5%	0.0%
西武地区	69.7%	84.8%	48.5%	68.2%	4.5%	45.5%	1.5%	10.6%	0.0%
地区無回答	50.0%	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%

問 3

「食品ロス」削減の取り組みについてお聞きします。「食品ロス」とは、家庭やお店での食べ残しや賞味期限が切れて食べられずに捨てられてしまう食品のことを言います。

あなたは食品ロスを減らすためにどのような取組をしていますか。（複数選択可）

食品ロスの取り組みとして、「食品や食材は必要な量だけ買うようにしている」、「食べきれなかった料理は冷凍保存するなど食べきるようにしている」、といった回答が多く寄せられました。特に、東金子地区、藤沢地区では、「食品や食材は必要な量だけ買うようにしている」、という回答が多い結果となりました。

%	食品や食材を買うときに、必要な量だけを買うようにしている	当日の食材を買うときは、賞味期限の日数が少ないものを選ぶようにしている	料理のメニューなどを工夫して、調理くずがなるべく出ないようにしている	食べきれない量の料理を作るようにしている	食べきれなかった料理は、冷凍保存をするなど、食べきるようにしている	飲食店では、ご飯の量を調整するなど、食べ残しが無いようにしている	飲食店でどうしても食べきれない場合、持ち帰りをお願いするようにしている	特に取り組んでいるものはない	その他	無回答
豊岡地区	67.5%	31.7%	45.2%	57.9%	77.8%	57.9%	26.2%	0.8%	3.2%	2.4%
東金子地区	84.2%	28.9%	42.1%	60.5%	73.7%	55.3%	23.7%	2.6%	10.5%	0.0%
金子地区	67.9%	21.4%	32.1%	50.0%	75.0%	50.0%	14.3%	3.6%	0.0%	0.0%
宮寺・二本木地区	71.4%	17.1%	34.3%	57.1%	82.9%	42.9%	22.9%	5.7%	0.0%	0.0%
藤沢地区	82.4%	23.5%	38.8%	63.5%	72.9%	60.0%	21.2%	2.4%	1.2%	3.5%
西武地区	71.2%	21.2%	45.5%	59.1%	71.2%	57.6%	15.2%	4.5%	6.1%	0.0%
地区無回答	50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	50.0%	75.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%

問 4

プラスチックごみの削減の取り組みについてお聞きます。

あなたが極力使わない、受け取らないようにしている「使い捨てプラスチック」はどれでしょうか。（複数回答可）

特に、「スプーンやフォークといったプラスチック製品」を受け取らないようにしている方が多い結果となりました。ペットボトルについては豊岡地区や西武地区では受け取らない人が多く、クリーニングのハンガーや包装ビニールについては、東金子地区や藤沢地区では受け取らない人が多い傾向が見受けられました。

%	商品の外装フィルム	商品の個別包装	食品トレイ	飲み物用カップ	飲み物用のカップの蓋	ペットボトル	ストロー	スプーン、フォーク	クリーニングのハンガーや包装用のビニール	レジ袋	その他	無回答
豊岡地区	13.5%	33.3%	7.1%	14.3%	17.5%	19.8%	36.5%	50.0%	18.3%	74.6%	0.8%	4.0%
東金子地区	18.4%	34.2%	10.5%	10.5%	15.8%	10.5%	34.2%	60.5%	26.3%	78.9%	2.6%	5.3%
金子地区	10.7%	21.4%	3.6%	14.3%	10.7%	7.1%	42.9%	50.0%	3.6%	71.4%	0.0%	3.6%
宮寺・二本木地区	17.1%	22.9%	5.7%	20.0%	11.4%	14.3%	40.0%	57.1%	11.4%	80.0%	0.0%	0.0%
藤沢地区	9.4%	31.8%	4.7%	5.9%	8.2%	15.3%	34.1%	60.0%	23.5%	70.6%	2.4%	4.7%
西武地区	9.1%	21.2%	6.1%	13.6%	13.6%	25.8%	40.9%	43.9%	12.1%	63.6%	1.5%	4.5%
地区無回答	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	75.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%

問 5

再利用（リユース）のために取り組んでいることは、次のうちどれですか。（複数回答可）

リユースの取り組みとしては、「洗剤やシャンプー等の容器を繰り返し使用している」方が非常に多く、金子地区では回答者の100%が洗剤やシャンプーの容器をリユースしていました。西武地区では「フリーマーケットやリサイクルショップの利用」が多い傾向があること、また東金子・金子地区では、「壊れたものを修理するなど物を大切にしている」傾向があることがわかりました。

%	洗剤やシャンプー等の容器を繰り返し使っている	リターナブル容器（牛乳瓶やビール瓶等）に入った製品を購入し、回収場所に出している	フリーマーケットやリサイクルショップ等を利用している	友人や知人と不用品の融通を行っている	壊れたものは修理するなど、物を大切にしている	特に取り組んでいるものはない	その他	無回答
豊岡地区	96.0%	24.6%	23.8%	15.9%	51.6%	4.8%	2.4%	0.0%
東金子地区	89.5%	26.3%	18.4%	0.0%	57.9%	7.9%	2.6%	0.0%
金子地区	100.0%	28.6%	21.4%	17.9%	57.1%	3.6%	0.0%	0.0%
宮寺・二本木地区	94.3%	17.1%	8.6%	8.6%	48.6%	5.7%	0.0%	0.0%
藤沢地区	92.9%	20.0%	16.5%	9.4%	36.5%	4.7%	1.2%	2.4%
西武地区	87.9%	33.3%	25.8%	13.6%	48.5%	6.1%	1.5%	0.0%
地区無回答	100.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 6

資源化（リサイクル）のために取り組んでいることは、次のうちどれですか。（複数選択可）

多くの回答者が、資源化のために、「市の分別ルールを徹底している」という回答結果となりました。
金子地区では、他の地域より、「地域の資源回収などの活動への参加、もしくは資源物の提供」などが多い傾向があり、また、宮寺・二本木地区ではリサイクル商品を優先的に購入する傾向がありことがわかりました。

%	市のルールに沿って分別を徹底している	牛乳パックやトレイなどは、店舗の回収BOXに持って行っている	雑がみは分別して、指定の回収日に出している	地域の集団資源回収などの活動に参加、もしくは資源物を提供している	生ごみをたい肥化している	リサイクル商品を優先的に購入している	特に取り組んでいるものはない	その他	無回答
豊岡地区	97.6%	31.7%	68.3%	36.5%	7.1%	11.9%	3.2%	0.8%	0.0%
東金子地区	100.0%	26.3%	68.4%	23.7%	15.8%	2.6%	2.6%	10.5%	0.0%
金子地区	96.4%	35.7%	71.4%	46.4%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
宮寺・二本木地区	94.3%	20.0%	62.9%	34.3%	17.1%	22.9%	8.6%	0.0%	0.0%
藤沢地区	94.1%	28.2%	70.6%	27.1%	4.7%	8.2%	4.7%	2.4%	0.0%
西武地区	95.5%	40.9%	62.1%	34.8%	3.0%	15.2%	6.1%	0.0%	0.0%
地区無回答	75.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 7

家庭ごみが増える原因として考えられることについてお聞きます。
あなたの普段の生活の中で、当てはまることは次のうちどれですか。（複数回答可）

コロナ禍の影響もあり、「通販やテイクアウトの利用の増加」を、家庭ごみが増加している原因としている回答が多く見受けられました。
宮寺・二本木地区では「通販やテイクアウトの利用が以前より多くなった」という回答が多く、また、東金子地区では、「ペットボトル飲料を購入する機会が多くなった」という回答が多い傾向となりました。

%	通販やテイクアウトの利用が以前より多くなった	ペットボトル飲料を購入する機会が多くなった	家でのご飯が増えたことにより、生ごみを捨てる量が多くなった	雑がみなどの資源物を燃やせるごみとして出してしまっている	その他	無回答
豊岡地区	41.3%	24.6%	34.9%	17.5%	7.9%	12.7%
東金子地区	31.6%	50.0%	23.7%	7.9%	5.3%	15.8%
金子地区	46.4%	28.6%	32.1%	21.4%	7.1%	17.9%
宮寺・二本木地区	48.6%	31.4%	20.0%	25.7%	8.6%	25.7%
藤沢地区	34.1%	31.8%	32.9%	14.1%	4.7%	23.5%
西武地区	43.9%	30.3%	33.3%	19.7%	6.1%	18.2%
地区無回答	50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

問 8

令和2年（2020年）の7月から全国でレジ袋の有料化が始まりました。レジ袋有料化をきっかけとして変わったあなたの行動で、最も近いものは次のうちどれですか。（1つだけ選択）

有料化後は、「マイバッグ等の使用やレジ袋を受け取らなくなった」、という回答が多く寄せられました。また、全体的には、約9割以上の方がレジ袋を受け取らなくなったと回答しています。
豊岡地区では、他地区より、もともとレジ袋を受け取っていなかったという回答が多い結果となりました。

%	もともとレジ袋を受け取っていなかった（有料化前からマイバッグ等を使っていた）	有料化後はレジ袋を受け取らなくなった（マイバッグ等を使うようになった）	有料化後はたまにしかレジ袋を受け取らなくなった（マイバッグ等を使わないこともある）	有料のレジ袋を受け取っている	その他	無回答
豊岡地区	19.0%	57.9%	19.0%	6.3%	4.0%	1.6%
東金子地区	15.8%	57.9%	18.4%	10.5%	0.0%	2.6%
金子地区	14.3%	64.3%	17.9%	7.1%	0.0%	0.0%
宮寺・二本木地区	11.4%	65.7%	17.1%	8.6%	0.0%	2.9%
藤沢地区	16.5%	63.5%	21.2%	3.5%	1.2%	3.5%
西武地区	9.1%	63.6%	24.2%	4.5%	1.5%	3.0%
地区無回答	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%

問 10

ごみの減量や資源化に関して、市でもっと推進すべき施策は何だと思われますか。（複数選択可）

市に対する要望として、ごみの削減に関する意識啓発や、プラスチックごみの削減推進等を期待している回答が多く寄せられました。

%	市民や事業者への意識啓発	環境教育の充実	生ごみの減量の推進（生ごみ処理機のさらなる使用推進など）	生ごみの減量の推進（生ごみ処理機のさらなる使用推進など）	プラスチックごみ削減の推進	食品ロス削減の推進	集団資源回収等の拡大	ごみ収集頻度や分別品目の見直し	高齢者や障がい者などへのゴミ出し支援	その他	無回答
豊岡地区	50.0%	38.1%	28.6%	28.6%	37.3%	38.1%	19.8%	13.5%	21.4%	4.8%	4.0%
東金子地区	57.9%	42.1%	42.1%	42.1%	65.8%	44.7%	34.2%	23.7%	31.6%	2.6%	7.9%
金子地区	42.9%	28.6%	28.6%	28.6%	46.4%	28.6%	32.1%	17.9%	17.9%	7.1%	0.0%
宮寺・二本木地区	34.3%	34.3%	31.4%	31.4%	40.0%	54.3%	25.7%	14.3%	31.4%	0.0%	2.9%
藤沢地区	50.6%	37.6%	25.9%	25.9%	52.9%	47.1%	16.5%	14.1%	24.7%	1.2%	7.1%
西武地区	43.9%	39.4%	22.7%	22.7%	42.4%	50.0%	24.2%	13.6%	19.7%	4.5%	4.5%
地区無回答	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	75.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%

問 1 1

入間市で 1 年間に処理をするごみの量は約 4 万 3 千トンです。そのごみを処理するためにおおよそ 1 6 億円の費用がかかっています。これは、年間一人あたり約 1 万 1 千円、一世帯当たり約 2 万 4 千円になる計算です。この費用についてどう思いますか。（1 つだけ選択）

入間市におけるごみ処理にかかる費用について、高い、もしくは分からないという回答が多く見受けられました。

	高いと思う	適正だと思う	安いと思う	分からない	無回答
%					
豊岡地区	34.1%	22.2%	1.6%	41.3%	0.8%
東金子地区	47.4%	23.7%	0.0%	23.7%	5.3%
金子地区	46.4%	28.6%	3.6%	21.4%	0.0%
宮寺・二本木地区	45.7%	25.7%	0.0%	25.7%	2.9%
藤沢地区	43.5%	17.6%	3.5%	34.1%	1.2%
西武地区	37.9%	22.7%	4.5%	31.8%	3.0%
地区無回答	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%

問 1 2

入間市の収集頻度について、当てはまる番号に○をつけてください。（分別区分ごとに 1 つだけ選択）

問 1 2 - 1

可燃ごみの収集回数 週 3 回

	回数を減らしてほしい	適切	回数を増やしてもよい	無回答
%				
豊岡地区	20.6%	71.4%	0.8%	7.1%
東金子地区	15.8%	68.4%	2.6%	13.2%
金子地区	10.7%	78.6%	0.0%	10.7%
宮寺・二本木地区	17.1%	71.4%	0.0%	11.4%
藤沢地区	14.1%	75.3%	2.4%	8.2%
西武地区	28.8%	63.6%	1.5%	6.1%
地区無回答	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%

可燃ごみの収集回数については、現在の週 3 回が適切という回答が多い結果となりました。

問 1 2 - 2

不燃ごみの収集回数 月 4 回

	回数を減らしてほしい	適切	回数を増やしてもよい	無回答
%				
豊岡地区	38.9%	53.2%	3.2%	4.8%
東金子地区	36.8%	47.4%	2.6%	13.2%
金子地区	35.7%	57.1%	3.6%	3.6%
宮寺・二本木地区	42.9%	40.0%	5.7%	11.4%
藤沢地区	43.5%	45.9%	1.2%	9.4%
西武地区	50.0%	37.9%	6.1%	6.1%
地区無回答	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%

不燃ごみの収集回収については、現在月 4 回が適切という回答が多い結果となりましたが、一部回数を減らしてほしいが上回る結果となりました。

問 1 2 - 3

ビニール・プラスチック類の収集回数 週 1 回

	回数を減らしてほしい	適切	回数を増やしてもよい	無回答
%				
豊岡地区	2.4%	77.8%	15.1%	4.8%
東金子地区	5.3%	63.2%	15.8%	15.8%
金子地区	3.6%	67.9%	21.4%	7.1%
宮寺・二本木地区	2.9%	62.9%	22.9%	11.4%
藤沢地区	2.4%	65.9%	21.2%	10.6%
西武地区	1.5%	71.2%	19.7%	7.6%
地区無回答	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%

ビニール・プラスチック類の収集回数については、週 1 回が適切であるとの回答が多い結果となりました。

問 1 2 - 4

びん・かん・ペットボトルの収集回数 月 2 回

	回数を減らしてほしい	適切	回数を増やしてもよい	無回答
%				
豊岡地区	9.5%	76.2%	9.5%	4.8%
東金子地区	5.3%	65.8%	13.2%	15.8%
金子地区	10.7%	64.3%	17.9%	7.1%
宮寺・二本木地区	5.7%	68.6%	14.3%	11.4%
藤沢地区	4.7%	72.9%	11.8%	10.6%
西武地区	10.6%	72.7%	10.6%	6.1%
地区無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

びん・かん・ペットボトルの収集回数については、月 2 回が適切であるとの回答が多い結果となりました。

問 1 2 - 5

古布・紙類の収集回数 月 2 回

	回数を減らしてほしい	適切	回数を増やしてもよい	無回答
%				
豊岡地区	14.3%	77.8%	3.2%	4.8%
東金子地区	10.5%	65.8%	7.9%	15.8%
金子地区	17.9%	67.9%	7.1%	7.1%
宮寺・二本木地区	25.7%	48.6%	14.3%	11.4%
藤沢地区	16.5%	71.8%	1.2%	10.6%
西武地区	21.2%	69.7%	3.0%	6.1%
地区無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

古布・紙類の収集回数については、月 2 回が適切であるとの回答が多い結果となりました。

問 1 2 - 6

有害ごみの収集回数 月 2 回

	回数を減らしてほしい	適切	回数を増やしてもよい	無回答
%				
豊岡地区	22.2%	69.8%	1.6%	6.3%
東金子地区	18.4%	57.9%	0.0%	23.7%
金子地区	17.9%	71.4%	3.6%	7.1%
宮寺・二本木地区	22.9%	65.7%	0.0%	11.4%
藤沢地区	14.1%	70.6%	3.5%	11.8%
西武地区	24.2%	68.2%	1.5%	6.1%
地区無回答	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%

有害ごみの収集回数については、月 2 回が適切であるとの回答が多い結果となりました。

問 1 3

家庭ごみの有料化制度についてお聞きます。

ごみの減量や資源化を推進するために、家庭ごみの有料化制度の導入も含めて、現在、様々な施策を検討しているところです。家庭ごみの有料化制度とは、自治体指定のごみ袋を購入すること等により、各家庭から排出されるごみの処理費用の一部を負担していただく仕組みです（びん・かん・古紙等の資源物は有料の対象外としているところが多くあるようです）。

ごみの有料化を実施した場合、ごみの発生抑制・再使用・再生利用をより身近なこととして意識していただくことで、さらなるごみ減量・資源化が期待できます。また、多くごみを出す場合は費用の負担が大きくなり、反対にごみ量が少ない場合は負担が小さくなることから、ごみ処理費用の負担が公平になります。ごみの有料化について、あなたはどのように考えますか。

（1つだけ選択）

「導入すべきである」と「ごみが減るならやむを得ない」を合算した数値と、「導入すべきでない」を比較した数値では、若干ではありますが「導入すべきである」、「ごみが減るならやむを得ない」と回答した人の合算した数値が多い結果となりました。

（導入すべき、やむを得ない）＝160人 > （導入すべきでない）＝148人

地区ごとで見ると、東金子地区では前者の回答割合が多い傾向で、藤沢地区では後者の回答割合が多い傾向となりました。

	導入すべきである	ごみが減るならやむを得ない	導入すべきではない	どちらでもよい	わからない	無回答
%						
豊岡地区	11.1%	30.2%	34.9%	10.3%	8.7%	4.8%
東金子地区	7.9%	39.5%	28.9%	7.9%	7.9%	7.9%
金子地区	10.7%	32.1%	32.1%	10.7%	14.3%	0.0%
宮寺・二本木地区	20.0%	28.6%	40.0%	5.7%	2.9%	2.9%
藤沢地区	7.1%	31.8%	49.4%	3.5%	4.7%	3.5%
西武地区	6.1%	36.4%	42.4%	4.5%	6.1%	4.5%
地区無回答	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%

問 1 4

問 1 3 で、「導入すべきである」、「ごみが減るならやむを得ない」を選んだ方にお聞きします。
主な理由は次のうちどれでしょうか。（2 つまで選択）

有料化を「導入すべきである」または「ごみが減るならやむを得ない」と回答した方の中で、「ごみの減量化が促進され環境への負荷が軽減されるから」と回答した方が多く見受けられました。
「資源分別やリサイクルが進む」、「処理費用の削減による他の行政サービスの向上」を理由として挙げている回答に差が表れる結果となりました。

%	ごみの減量化が促進され環境への負荷が軽減されるから	資源分別やリサイクルが進むと思われるから	ごみの減量・リサイクルを行っている人とごみをたくさん出す人の費用負担を公平にすべきだから	市のごみ処理費用を削減することで、他の行政サービスにお金を使えるようになるから	ごみ処理費用は電気代や水道代と同じように、出す量に応じて負担すべきだと思うから	その他	無回答
豊岡地区	69.2%	42.3%	25.0%	21.2%	17.3%	0.0%	0.0%
東金子地区	55.6%	22.2%	27.8%	38.9%	16.7%	11.1%	0.0%
金子地区	75.0%	8.3%	16.7%	41.7%	33.3%	16.7%	0.0%
宮寺・二本木地区	35.3%	35.3%	23.5%	29.4%	35.3%	0.0%	0.0%
藤沢地区	54.5%	39.4%	21.2%	30.3%	24.2%	9.1%	0.0%
西武地区	89.3%	28.6%	14.3%	21.4%	25.0%	7.1%	0.0%
地区無回答	—	—	—	—	—	—	—

問 1 5

問 1 3 で、「導入すべきではない」、を選んだ方にお聞きします。主な理由は次のうちどれでしょうか。（2 つまで選択）

「導入すべきではない」と回答された方の中では、「家計の新たな費用負担が発生するから」と回答した方が多く見受けられました。
「事業者に対するごみの減量や資源化」や、「不法投棄が増え環境・景観が悪化する」といった回答に差が表れる結果となりました。

%	家計の新たな費用負担が発生するから	ごみ処理事業の効率化を先に行うべきだから	製造業者・小売業者によるごみの減量や資源化を先に行うべきだから	市民によるごみの減量・資源化の自発的な取り組みを優先すべきだから	ごみの減量効果は一時的なものと思うから	不法投棄が増え周辺の環境・景観が悪化すると思うから	その他	無回答
豊岡地区	70.5%	13.6%	25.0%	13.6%	2.3%	47.7%	9.1%	0.0%
東金子地区	63.6%	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%	63.6%	9.1%	0.0%
金子地区	66.7%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	77.8%	0.0%	0.0%
宮寺・二本木地区	71.4%	14.3%	7.1%	14.3%	14.3%	57.1%	7.1%	0.0%
藤沢地区	63.6%	9.5%	31.0%	9.5%	9.5%	61.9%	9.5%	0.0%
西武地区	60.7%	7.1%	21.4%	7.1%	3.6%	53.6%	14.3%	0.0%
地区無回答	—	—	—	—	—	—	—	—

問 1 6

ごみの有料化についてお聞きします。あなたにとってごみを少なくする意識が働き、かつ経済的にも負担してもよいと思われる金額は、一世帯 1 ヶ月あたりどのくらいが適切だと思いますか。

ごみ処理を有料化した場合の 1 か月の負担額について、3 0 0 円以下、5 0 0 円程度と回答した方が全体の約 8 割弱を占める結果となりました。

	3 0 0 円以下	5 0 0 円程度	7 0 0 円程度	9 0 0 円以上	その他	無回答
%						
豊岡地区	42.9%	35.7%	4.0%	0.0%	8.7%	8.7%
東金子地区	50.0%	31.6%	0.0%	2.6%	10.5%	5.3%
金子地区	46.4%	35.7%	0.0%	0.0%	14.3%	3.6%
宮寺・二本木地区	40.0%	34.3%	2.9%	8.6%	5.7%	8.6%
藤沢地区	49.4%	29.4%	4.7%	2.4%	10.6%	3.5%
西武地区	42.4%	27.3%	7.6%	0.0%	13.6%	9.1%
地区無回答	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

問 1 7

家庭ごみの有料化が導入された場合、どのような経済的・社会的配慮が必要だと思いますか。（複数選択可）

ごみ処理が有料がされた場合の配慮策として、「乳幼児や高齢者等のおむつの排出減免」や、「草木や剪定枝等減量努力が及ばないものに対する適用除外」、といった回答が多く見受けられました。

	生活保護を受けている世帯に対する減免	乳幼児や高齢者の紙おむつの排出に対する減免	草木や剪定枝など、減量努力が及ばない者に対する適用除外	ボランティアによる清掃ごみに対する適用除外	その他	無回答
%						
豊岡地区	22.2%	54.0%	54.0%	45.2%	4.8%	6.3%
東金子地区	39.5%	57.9%	55.3%	39.5%	2.6%	13.2%
金子地区	25.0%	71.4%	71.4%	17.9%	3.6%	3.6%
宮寺・二本木地区	25.7%	62.9%	74.3%	48.6%	2.9%	5.7%
藤沢地区	34.1%	57.6%	62.4%	47.1%	7.1%	9.4%
西武地区	31.8%	50.0%	54.5%	37.9%	12.1%	15.2%
地区無回答	50.0%	75.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%

問 1 8

ごみ有料化が導入された場合の意識についてお聞きます。もし家庭ごみの有料化が導入された場合、あなたのごみ減量や資源化に対する取り組み方は変わりますか。（１つだけ選択）

ごみ処理の有料化が導入された場合、「ごみ減量や資源化に対する取組に関して一層積極的に取り組むようになる」と回答した方が多く見受けられました。

	より一層積極的に取り組むようになると思う	取り組み方は特に変わらないと思う	無回答
%			
豊岡地区	50.8%	44.4%	4.8%
東金子地区	42.1%	44.7%	13.2%
金子地区	71.4%	28.6%	0.0%
宮寺・二本木地区	60.0%	37.1%	2.9%
藤沢地区	61.2%	32.9%	5.9%
西武地区	48.5%	42.4%	9.1%
地区無回答	25.0%	75.0%	0.0%

問 1 9

問 1 8 で、「より一層積極的に取り組むようになると思う」と答えた方にお聞きます。どのような取り組みを行いますか。（複数選択可）

「より一層積極的に取り組むようになる」と回答した方では、「ごみと資源の分別を徹底する」、「過剰な包装を断るようになっている」、「マイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにする」と回答した方が多く見受けられました。

%	ごみと資源の分別を徹底する	過剰な包装を断るようになっている	マイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにする	再生品を優先して選ぶ（トイレットペーパーなど）	紙コップや割り箸などの使い捨て商品は使わず、繰り返し使用できる商品を買うようにする	電気製品や衣料品などは修理できるものは修理して、長く使うようにする	生ごみの水切りを徹底して、生ごみの重量やかさを減らすようにする	生ごみをたい肥化したり、生ごみ処理機を使ったりして、できるだけ生ごみを出さないようにする	食材を買いすぎたり、食べ残しをしないようにする	トレイや牛乳パック、びん・かん・ペットボトル・新聞など、販売店に返せるものは返すようにする	フリーマーケットやリサイクルショップを積極的に活用する	その他	無回答
豊岡地区	71.9%	51.6%	65.6%	26.6%	42.2%	28.1%	56.3%	14.1%	51.6%	54.7%	15.6%	0.0%	1.6%
東金子地区	81.3%	81.3%	81.3%	43.8%	62.5%	56.3%	62.5%	31.3%	75.0%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%
金子地区	45.0%	60.0%	65.0%	15.0%	70.0%	35.0%	80.0%	10.0%	60.0%	50.0%	10.0%	10.0%	0.0%
宮寺・二本木地区	57.1%	38.1%	81.0%	33.3%	38.1%	28.6%	38.1%	38.1%	42.9%	47.6%	9.5%	4.8%	0.0%
藤沢地区	71.2%	61.5%	67.3%	28.8%	57.7%	26.9%	59.6%	1.9%	53.8%	65.4%	9.6%	1.9%	0.0%
西武地区	75.0%	56.3%	68.8%	37.5%	53.1%	43.8%	53.1%	9.4%	56.3%	62.5%	25.0%	6.3%	0.0%
地区無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 2 0

問 1 8 で、「取り組み方は特に変わらないと思う。」と答えた方にお聞きします。主な理由は何ですか。
(1 つだけ選択)

「取り組みは特に変わらない」と回答された方の理由としては、環境意識が高く、現時点で既に取り組んでいるため、と回答されている方が多く見受けられました。

	ごみ処理費用（指定袋の価格）があまり気にならない	ごみの減量や資源化には手間がかかるため、費用がかかっても構わない	すでに努力しているため、今以上の取り組みは難しい	その他	無回答
%					
豊岡地区	7.1%	3.6%	85.7%	1.8%	1.9%
東金子地区	5.9%	11.8%	82.4%	0.0%	0.0%
金子地区	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
宮寺・二本木地区	15.4%	0.0%	76.9%	7.7%	0.0%
藤沢地区	10.7%	10.7%	67.9%	10.7%	0.0%
西武地区	3.6%	3.6%	85.7%	7.1%	0.0%
地区無回答	—	—	—	—	—

※予備シート

「導入すべきである」と「ごみが減るならやむを得ない」を合算した数値と、「導入すべきでない」を比較した数値はほぼ均等となりました。
 地区ごとで見ると、東金子地区では前者の回答割合が多い傾向で、藤沢地区では後者の回答割合が多い傾向となりました。

		導入すべきである	ごみが減るならやむを得ない	導入すべきではない	どちらでもよい	わからない	無回答	
	%							
52人	豊岡地区	11.1%	30.2%	34.9%	10.3%	8.7%	4.8%	N126人
18人	東金子地区	7.9%	39.5%	28.9%	7.9%	7.9%	7.9%	N38人
12人	金子地区	10.7%	32.1%	32.1%	10.7%	14.3%	0.0%	N28人
17人	宮寺・二本木地区	20.0%	28.6%	40.0%	5.7%	2.9%	2.9%	N35人
33人	藤沢地区	7.1%	31.8%	49.4%	3.5%	4.7%	3.5%	N85人
28人	西武地区	6.1%	36.4%	42.4%	4.5%	6.1%	4.5%	N66人
	地区無回答	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	

ごみ減量化に関するアンケート調査結果 年代別クロス分析

年代ごとに差が出てくる可能性の設問に対し、年代別のクロス分析を行いました。

【分析方法】

1 年代分けについて

総計 : (N = 382)

- | | | |
|---------|---|-----------|
| ① 20歳未満 | : | (N = 7) |
| ② 20歳代 | : | (N = 19) |
| ③ 30歳代 | : | (N = 28) |
| ④ 40歳代 | : | (N = 59) |
| ⑤ 50歳代 | : | (N = 55) |
| ⑥ 60歳代 | : | (N = 68) |
| ⑦ 70歳代 | : | (N = 106) |
| ⑧ 80歳代 | : | (N = 37) |

(地区無回答 : N = 0) : (N = 3)

2 分析結果の表示

地区ごとに差の見られた設問に対し、以下のとおり色付けしました。

- ・他年代と比較して割合が大きい : 赤枠
- ・他年代と比較して割合が小さい : 青枠

問 2

ごみ発生抑制（リデュース）のために取り組んでいることは、次のうちどれですか。（複数回答可）

- ・全年代で、詰め替え用の商品の購入にご協力いただいている。
- ・飲み物の水筒での持ち歩きについては、20歳未満の年代が多く取り組んでいる。

	買い物では、必要な量だけを買うようにしている	詰め替え用の商品の購入している	過剰な包装は断っている	レジ袋はもらわないようにしている	レンタルショップを利用して	飲み物は水筒などに入れて持ち歩き、ペットボトル等は購入しないようにしている	特に取り組んでいるものはない	その他	無回答
%									
20歳未満	57.1%	71.4%	28.6%	42.9%	0.0%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%
20歳代	68.4%	78.9%	26.3%	78.9%	0.0%	15.8%	5.3%	5.3%	0.0%
30歳代	75.0%	89.3%	57.1%	78.6%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代	62.7%	86.4%	45.8%	69.5%	3.4%	47.5%	1.7%	3.4%	0.0%
50歳代	67.3%	89.1%	69.1%	83.6%	12.7%	43.6%	1.8%	1.8%	0.0%
60歳代	66.2%	91.2%	58.8%	88.2%	1.5%	29.4%	2.9%	7.4%	0.0%
70歳代	82.1%	75.5%	54.7%	83.0%	2.8%	54.7%	1.9%	10.4%	0.0%
80歳以上	91.9%	73.0%	56.8%	73.0%	0.0%	62.2%	5.4%	2.7%	0.0%
年代無回答	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%

問 3

「食品ロス」削減の取り組みについてお聞きます。

「食品ロス」とは、家庭やお店での食べ残しや賞味期限が切れて食べられずに捨てられてしまう食品のことを言います。

あなたは食品ロスを減らすためにどのような取組をしていますか。（複数選択可）

- ・「食品や食材を買うときに、必要な量だけを買うようにしている」では、より多く食品や食材を使用する子育て世帯である30歳代・40歳代で多く取り組まれている。

	食品や食材を買うときに、必要な量だけを買うようにしている	当日の食材を買うときは、賞味期限の日数が少ないものを選ぶようにしている	料理のメニューなどを工夫して、調理くずがなるべく出ないようにしている	食べきれない量の料理を作っている	食べきれなかった料理は、冷凍保存をするなど、食べきるようにしている	飲食店では、ご飯の量を調整するなど、食べ残しが無いようにしている	飲食店でどうしても食べきれない場合、持ち帰りをお願いするようにしている	特に取り組んでいるものはない	その他	無回答
%										
20歳未満	71.4%	57.1%	14.3%	42.9%	57.1%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	68.4%	26.3%	21.1%	31.6%	57.9%	57.9%	15.8%	15.8%	5.3%	0.0%
30歳代	89.3%	32.1%	35.7%	57.1%	64.3%	64.3%	25.0%	0.0%	3.6%	0.0%
40歳代	71.2%	25.4%	39.0%	47.5%	78.0%	50.8%	18.6%	3.4%	0.0%	0.0%
50歳代	69.1%	34.5%	36.4%	61.8%	76.4%	61.8%	10.9%	1.8%	1.8%	0.0%
60歳代	63.2%	26.5%	42.6%	63.2%	82.4%	57.4%	25.0%	0.0%	1.5%	1.5%
70歳代	74.5%	18.9%	49.1%	62.3%	74.5%	53.8%	28.3%	1.9%	7.5%	3.8%
80歳以上	86.5%	21.6%	48.6%	73.0%	75.7%	51.4%	18.9%	8.1%	2.7%	2.7%
年代無回答	100.0%	0.0%	0.0%	66.7%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

問 4

プラスチックごみの削減の取り組みについてお聞きます。

あなたが極力使わない、受け取らないようにしている「使い捨てプラスチック」はどれでしょうか。（複数回答可）

・使い捨てプラスチックについては、レジ袋有料化の影響で、「レジ袋」を受け取らない取組みは広がっているが、他の項目はどの世代も全体的に取組みがあまり広がっていない。

%	商品の外装フィルム	商品の個別包装	食品トレイ	飲み物用カップ	飲み物用のカップの蓋	ペットボトル	ストロー	スプーン、フォーク	クリーニングのハンガーや包装用のビニール	レジ袋	その他	無回答
20歳未満	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
20歳代	15.8%	15.8%	10.5%	15.8%	10.5%	0.0%	31.6%	36.8%	0.0%	78.9%	0.0%	0.0%
30歳代	10.7%	28.6%	10.7%	10.7%	7.1%	21.4%	21.4%	50.0%	28.6%	78.6%	0.0%	0.0%
40歳代	10.2%	18.6%	0.0%	5.1%	11.9%	20.3%	30.5%	49.2%	16.9%	74.6%	0.0%	1.7%
50歳代	5.5%	27.3%	3.6%	10.9%	5.5%	14.5%	36.4%	56.4%	18.2%	83.6%	3.6%	0.0%
60歳代	10.3%	36.8%	4.4%	13.2%	19.1%	16.2%	42.6%	66.2%	16.2%	77.9%	0.0%	2.9%
70歳代	14.2%	28.3%	7.5%	17.0%	17.0%	17.0%	41.5%	54.7%	18.9%	69.8%	2.8%	7.5%
80歳以上	18.9%	40.5%	13.5%	16.2%	13.5%	24.3%	45.9%	40.5%	18.9%	54.1%	0.0%	10.8%
年代無回答	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%

問 5

再利用（リユース）のために取り組んでいることは、次のうちどれですか。（複数回答可）

・「洗剤やシャンプー等の容器を繰り返し使っている」については、全世代で取り組んでいただいている。
 ・「リターナブル容器（牛乳瓶やビール瓶等）に入った製品を購入し、回収場所に出している」については、80歳以上の世代に多く取り組んでいただいている。

%	洗剤やシャンプー等の容器を繰り返し使っている	リターナブル容器（牛乳瓶やビール瓶等）に入った製品を購入し、回収場所に出している	フリーマーケットやリサイクルショップ等を利用している	友人や知人と不用品の融通を行っている	壊れたものは修理するなど、物を大切にしている	特に取り組んでいるものはない	その他	無回答
20歳未満	100.0%	14.3%	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
20歳代	89.5%	10.5%	36.8%	21.1%	26.3%	5.3%	0.0%	5.3%
30歳代	96.4%	10.7%	25.0%	32.1%	32.1%	3.6%	0.0%	0.0%
40歳代	91.5%	16.9%	23.7%	18.6%	45.8%	6.8%	0.0%	0.0%
50歳代	98.2%	14.5%	36.4%	9.1%	40.0%	1.8%	0.0%	0.0%
60歳代	97.1%	27.9%	16.2%	8.8%	44.1%	1.5%	1.5%	0.0%
70歳代	91.5%	29.2%	12.3%	7.5%	60.4%	6.6%	4.7%	0.0%
80歳以上	86.5%	54.1%	10.8%	2.7%	64.9%	10.8%	0.0%	2.7%
年代無回答	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

問 6

資源化（リサイクル）のために取り組んでいることは、次のうちどれですか。（複数選択可）

- ・全ての世代の方に市のルールに沿った分別にご協力いただいている。
- ・「雑がみは分別して、指定の回収日に出している」については、主に60～80歳以上の年代の方を中心にご協力いただいている。

	市のルールに沿って分別を徹底している	牛乳パックやトレイなどは、店舗の回収BOXに持って行っている	雑がみは分別して、指定の回収日に出している	地域の集回資源回収などの活動に参加、もしくは資源物を提供している	生ごみをたい肥化している	リサイクル商品を優先的に購入している	特に取り組んでいるものはない	その他	無回答
%									
20歳未満	100.0%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	89.5%	21.1%	36.8%	10.5%	0.0%	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%
30歳代	92.9%	17.9%	57.1%	3.6%	7.1%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代	93.2%	27.1%	57.6%	18.6%	3.4%	13.6%	5.1%	1.7%	0.0%
50歳代	94.5%	32.7%	61.8%	38.2%	3.6%	14.5%	5.5%	0.0%	0.0%
60歳代	100.0%	45.6%	70.6%	44.1%	7.4%	5.9%	0.0%	1.5%	0.0%
70歳代	96.2%	29.2%	73.6%	43.4%	13.2%	13.2%	3.8%	3.8%	0.0%
80歳以上	100.0%	32.4%	89.2%	37.8%	16.2%	13.5%	10.8%	2.7%	0.0%
年代無回答	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 7

家庭ごみが増える原因として考えられることについてお聞きします。

あなたの普段の生活の中で、当てはまることは次のうちどれですか。（複数回答可）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響か、「通販やテイクアウトの利用が以前より多くなった」という回答が、20歳未満～50歳代で50%を超えている。

	通販やテイクアウトの利用が以前より多くなった	ペットボトル飲料を購入する機会が多くなった	家でのご飯が増えたことに伴い、生ごみを捨てる量が多くなった	雑がみなどの資源物を燃やせるごみとして出している	その他	無回答
%						
20歳未満	71.4%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	57.9%	42.1%	36.8%	10.5%	0.0%	0.0%
30歳代	57.1%	17.9%	39.3%	21.4%	3.6%	10.7%
40歳代	55.9%	23.7%	27.1%	28.8%	8.5%	6.8%
50歳代	61.8%	47.3%	38.2%	18.2%	5.5%	5.5%
60歳代	33.8%	32.4%	27.9%	19.1%	5.9%	17.6%
70歳代	19.8%	24.5%	31.1%	11.3%	8.5%	34.0%
80歳以上	27.0%	27.0%	27.0%	16.2%	8.1%	27.0%
年代無回答	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%

問 8

令和2年（2020年）の7月から全国でレジ袋の有料化が始まりました。レジ袋有料化をきっかけとして変わったあなたの行動で、最も近いものは次のうちどれですか。（1つだけ選択）

・全世代で「有料化後はレジ袋を受け取らなくなった（マイバッグ等をいつも使うようになった）」と回答する方がほぼ50%を超えているが、20歳未満については、まだ「有料化後はたまにしかレジ袋を受け取らなくなった（マイバッグ等を使わないこともある）」と回答する方も約半数いる。

%	もともとレジ袋を受け取っていなかった（有料化前からマイバッグ等を使っていた）	有料化後はレジ袋を受け取らなくなった（マイバッグ等をいつも使うようになった）	有料化後はたまにしかレジ袋を受け取らなくなった（マイバッグ等を使わないこともある）	有料のレジ袋を受け取っている	その他	無回答
20歳未満	0.0%	57.1%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%
20歳代	5.3%	52.6%	26.3%	15.8%	0.0%	0.0%
30歳代	10.7%	53.6%	35.7%	7.1%	0.0%	3.6%
40歳代	15.3%	49.2%	33.9%	3.4%	0.0%	0.0%
50歳代	20.0%	63.6%	14.5%	3.6%	0.0%	0.0%
60歳代	20.6%	63.2%	16.2%	1.5%	1.5%	1.5%
70歳代	13.2%	66.0%	14.2%	5.7%	4.7%	6.6%
80歳以上	16.2%	70.3%	13.5%	13.5%	0.0%	2.7%
年代無回答	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%

問 10

ごみの減量や資源化に関して、市でもっと推進すべき施策は何だと思いますか。（複数選択可）

・全世代の約半数の方に「市民や事業者への意識啓発」の推進をすべきという回答をいただいている。
 ・「ごみ収集頻度や分別品目の見直し」については、20歳未満の年代が多く推進すべきとしている。

%	市民や事業者への意識啓発	環境教育の充実	生ごみの減量の推進（生ごみ処理機のさらなる使用推進など）	プラスチックごみ削減の推進	食品ロス削減の推進	集団資源回収等の拡大	ごみ収集頻度や分別品目の見直し	高齢者や障がい者などへのゴミ出し支援	その他	無回答
20歳未満	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%	42.9%	28.6%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%
20歳代	42.1%	31.6%	31.6%	42.1%	42.1%	10.5%	21.1%	21.1%	5.3%	10.5%
30歳代	35.7%	46.4%	17.9%	35.7%	50.0%	21.4%	10.7%	25.0%	0.0%	3.6%
40歳代	47.5%	39.0%	25.4%	35.6%	42.4%	20.3%	20.3%	13.6%	1.7%	3.4%
50歳代	58.2%	36.4%	27.3%	52.7%	50.9%	18.2%	12.7%	16.4%	0.0%	0.0%
60歳代	54.4%	44.1%	30.9%	52.9%	47.1%	20.6%	16.2%	23.5%	7.4%	1.5%
70歳代	43.4%	31.1%	31.1%	46.2%	36.8%	25.5%	12.3%	30.2%	3.8%	9.4%
80歳以上	45.9%	37.8%	35.1%	48.6%	45.9%	35.1%	10.8%	29.7%	5.4%	5.4%
年代無回答	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 1 1

入間市で1年間に処理をするごみの量は約4万3千トンです。そのごみを処理するためにおおよそ16億円の費用がかかっています。これは、年間一人あたり約1万1千円、一世帯当たり約2万4千円になる計算です。この費用についてどう思いますか。（1つだけ選択）

・30歳代の方に多く「高いと思う」という意見をいただいているが、20歳代・40歳代～70歳代は「高いと思う」と「分からない」の差があまりない。

	高いと思う	適正だと思う	安いと思う	分からない
%				
20歳未満	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%
20歳代	36.8%	10.5%	10.5%	42.1%
30歳代	60.7%	17.9%	0.0%	21.4%
40歳代	30.5%	32.2%	0.0%	35.6%
50歳代	47.3%	18.2%	3.6%	30.9%
60歳代	36.8%	22.1%	2.9%	36.8%
70歳代	39.6%	17.9%	0.9%	36.8%
80歳以上	37.8%	35.1%	2.7%	24.3%
年代無回答	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%

問 1 2

入間市の収集頻度について、当てはまる番号に○をつけてください。（分別区分ごとに1つだけ選択）

問 1 2 - 1

可燃ごみの収集回数 週3回

	回数を減らしてほしい	適切	回数を増やしてもよい	無回答
%				
20歳未満	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
20歳代	21.1%	73.7%	5.3%	0.0%
30歳代	3.6%	78.6%	3.6%	14.3%
40歳代	10.2%	83.1%	1.7%	5.1%
50歳代	16.4%	74.5%	1.8%	7.3%
60歳代	20.6%	72.1%	0.0%	7.4%
70歳代	30.2%	57.5%	0.9%	11.3%
80歳以上	16.2%	70.3%	0.0%	13.5%
年代無回答	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%

・全世代で「適切」と回答している割合が多い。

問 1 2 - 2

不燃ごみの収集回数 月4回

	回数を減らしてほしい	適切	回数を増やしてもよい	無回答
%				
20歳未満	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%
20歳代	31.6%	57.9%	10.5%	0.0%
30歳代	17.9%	64.3%	7.1%	10.7%
40歳代	37.3%	49.2%	8.5%	5.1%
50歳代	43.6%	50.9%	0.0%	5.5%
60歳代	54.4%	38.2%	2.9%	4.4%
70歳代	48.1%	39.6%	0.9%	11.3%
80歳以上	32.4%	56.8%	0.0%	10.8%
年代無回答	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%

・20歳未満～30歳代は「適切」と回答する割合が多いが、60歳代・70歳代は「回数を減らしてほしい」という回答が多い。

問 1 2 - 3

ビニール・プラスチック類の収集回数 週 1 回

	回数を減らしてほしい	適切	回数を増やしてもよい	無回答
%				
2 0 歳未満	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%
2 0 歳代	0.0%	68.4%	26.3%	5.3%
3 0 歳代	0.0%	42.9%	46.4%	10.7%
4 0 歳代	1.7%	61.0%	33.9%	3.4%
5 0 歳代	1.8%	70.9%	21.8%	5.5%
6 0 歳代	1.5%	77.9%	11.8%	8.8%
7 0 歳代	4.7%	78.3%	5.7%	11.3%
8 0 歳以上	5.4%	75.7%	5.4%	13.5%
年代無回答	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%

・ほぼ全世代が「適切」と回答しているが、2 0 歳未満～5 0 歳代は「回答数を増やしてもよい」が一定数いる。

問 1 2 - 4

びん・かん・ペットボトルの収集回数 月 2 回

	回数を減らしてほしい	適切	回数を増やしてもよい	無回答
%				
2 0 歳未満	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%
2 0 歳代	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%
3 0 歳代	7.1%	57.1%	25.0%	10.7%
4 0 歳代	10.2%	66.1%	20.3%	3.4%
5 0 歳代	9.1%	69.1%	16.4%	5.5%
6 0 歳代	2.9%	79.4%	8.8%	8.8%
7 0 歳代	11.3%	75.5%	1.9%	11.3%
8 0 歳以上	5.4%	78.4%	2.7%	13.5%
年代無回答	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%

・2 0 歳未満については「適切」と「回数を増やしてもよい」という回答が約半数ずつあるが、2 0 歳代以上の年代は「適切」という回答が多くある。

問 1 2 - 5

古布・紙類の収集回数 月 2 回

	回数を減らしてほしい	適切	回数を増やしてもよい	無回答
%				
2 0 歳未満	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
2 0 歳代	5.3%	89.5%	5.3%	0.0%
3 0 歳代	14.3%	60.7%	14.3%	10.7%
4 0 歳代	15.3%	67.8%	13.6%	3.4%
5 0 歳代	25.5%	69.1%	0.0%	5.5%
6 0 歳代	19.1%	70.6%	1.5%	8.8%
7 0 歳代	20.8%	67.9%	0.0%	11.3%
8 0 歳以上	8.1%	75.7%	2.7%	13.5%
年代無回答	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%

・全世代で「適切」と回答している割合が多い。

問 1 2 - 6

有害ごみの収集回数 月 2 回

	回数を減らしてほしい	適切	回数を増やしてもよい	無回答
%				
2 0 歳未満	0.0%	85.7%	0.0%	14.3%
2 0 歳代	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
3 0 歳代	17.9%	67.9%	3.6%	10.7%
4 0 歳代	22.0%	66.1%	6.8%	5.1%
5 0 歳代	27.3%	67.3%	0.0%	5.5%
6 0 歳代	19.1%	69.1%	1.5%	10.3%
7 0 歳代	23.6%	63.2%	0.9%	12.3%
8 0 歳以上	18.9%	64.9%	0.0%	16.2%
年代無回答	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%

・全世代で「適切」と回答している割合が多い。

問 1 3

家庭ごみの有料化制度についてお聞きます。

ごみの減量や資源化を推進するために、家庭ごみの有料化制度の導入も含めて、現在、様々な施策を検討しているところです。家庭ごみの有料化制度とは、自治体指定のごみ袋を購入すること等により、各家庭から排出されるごみの処理費用の一部を負担していただく仕組みです（びん・かん・古紙等の資源物は有料の対象外としているところが多くあるようです）。

ごみの有料化を実施した場合、ごみの発生抑制・再使用・再生利用をより身近なこととして意識していただくことで、さらなるごみ減量・資源化が期待できます。また、多くごみを出す場合は費用の負担が大きくなり、反対にごみ量が少ない場合は負担が小さくなることから、ごみ処理費用の負担が公平になります。ごみの有料化について、あなたはどのように考えますか。

（1 つだけ選択）

・「導入すべきではない」という回答が多いが、70歳代は「ごみが減るならやむを得ない」が、80歳以上は「導入すべきである」「ごみが減るならやむを得ない」という回答が「導入すべきではない」を上回っている。

	導入すべきである	ごみが減るならやむを得ない	導入すべきではない	どちらでもよい	わからない	無回答
%						
20歳未満	0.0%	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%
20歳代	10.5%	31.6%	31.6%	10.5%	10.5%	5.3%
30歳代	7.1%	17.9%	57.1%	10.7%	7.1%	0.0%
40歳代	6.8%	25.4%	55.9%	3.4%	6.8%	1.7%
50歳代	1.8%	30.9%	49.1%	7.3%	9.1%	1.8%
60歳代	5.9%	30.9%	45.6%	7.4%	8.8%	1.5%
70歳代	13.2%	39.6%	24.5%	7.5%	6.6%	8.5%
80歳以上	27.0%	35.1%	21.6%	2.7%	5.4%	8.1%
年代無回答	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

問 1 4

問 1 3 で、「導入すべきである」、「ごみが減るならやむを得ない」を選んだ方にお聞きします。

主な理由は次のうちどれでしょうか。（2 つまで選択）

・全体的に「ごみの減量化が促進され環境への負荷が軽減されると思うから」と回答しており、特に 20 歳未満～30 歳代の割合が多い。

	ごみの減量化が促進され環境への負荷が軽減されると思うから	資源分別やリサイクルが進むと思われるから	ごみの減量・リサイクルを行っている人とごみをたくさん出す人の費用負担を公平にすべきだから	市のごみ処理費用を削減することで、他の行政サービスにお金が使えようになるから	ごみ処理費用は電気代や水道代と同じように、出す量に応じて負担すべきだと思うから	その他	無回答
%							
20 歳未満	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
20 歳代	100.0%	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
30 歳代	100.0%	57.1%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
40 歳代	68.4%	31.6%	31.6%	21.1%	15.8%	5.3%	0.0%
50 歳代	44.4%	27.8%	33.3%	44.4%	11.1%	5.6%	0.0%
60 歳代	64.0%	52.0%	16.0%	28.0%	16.0%	8.0%	0.0%
70 歳代	67.9%	26.8%	25.0%	25.0%	30.4%	7.1%	0.0%
80 歳以上	47.8%	21.7%	21.7%	30.4%	39.1%	4.3%	0.0%
年代無回答	-	-	-	-	-	-	-

問 1 5

問 1 3 で、「導入すべきではない」、を選んだ方にお聞きします。主な理由は次のうちどれでしょうか。（2 つまで選択）

・20 歳未満と、子育て世帯の 30 歳代と 40 歳代で「家計の新たな費用負担が発生するから」という回答が多い。

	家計の新たな費用負担が発生するから	ごみ処理事業の効率化を先に行うべきだから	製造業者・小売業者によるごみの減量や資源化を先に行うべきだから	市民によるごみの減量・資源化の目的的な取り組みを優先すべきだから	ごみの減量効果は一時的なものと思うから	不法投棄が増え周辺の環境・景観が悪化すると思うから	その他	無回答
%								
20 歳未満	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%
20 歳代	26.3%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%
30 歳代	42.9%	7.1%	3.6%	0.0%	3.6%	35.7%	7.1%	0.0%
40 歳代	45.8%	3.4%	10.2%	3.4%	5.1%	33.9%	1.7%	0.0%
50 歳代	29.1%	3.6%	10.9%	5.5%	0.0%	30.9%	5.5%	0.0%
60 歳代	20.6%	4.4%	14.7%	7.4%	5.9%	23.5%	7.4%	0.0%
70 歳代	13.2%	2.8%	4.7%	1.9%	2.8%	13.2%	2.8%	0.0%
80 歳以上	8.1%	5.4%	8.1%	8.1%	0.0%	10.8%	0.0%	0.0%
年代無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

問 1 6

ごみの有料化についてお聞きします。あなたにとってごみを少なくする意識が働き、かつ経済的にも負担してもよいと思われる金額は、一世帯 1 ヶ月あたりどのくらいが適切だと思いますか。

- どの世代も「300円以下」が一番多いが、特に20歳未満と20歳代が多い。
- 「500円程度」は30歳代が多い。

	300円以下	500円程度	700円程度	900円以上	その他	無回答
%						
20歳未満	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
20歳代	52.6%	26.3%	0.0%	0.0%	15.8%	5.3%
30歳代	50.0%	46.4%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%
40歳代	39.0%	23.7%	6.8%	3.4%	22.0%	5.1%
50歳代	50.9%	34.5%	1.8%	0.0%	5.5%	7.3%
60歳代	47.1%	35.3%	4.4%	0.0%	5.9%	7.4%
70歳代	40.6%	32.1%	6.6%	0.9%	11.3%	8.5%
80歳以上	43.2%	32.4%	0.0%	8.1%	5.4%	10.8%
年代無回答	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%

問 1 7

家庭ごみの有料化が導入された場合、どのような経済的・社会的配慮が必要だと思いますか。（複数選択可）

- 「乳幼児や高齢者の紙おむつの排出に対する減免」は30歳代、「草木や剪定枝など、減量努力が及ばない者に対する適用除外」は60歳代が多く回答している。

	生活保護を受けている世帯に対する減免	乳幼児や高齢者の紙おむつの排出に対する減免	草木や剪定枝など、減量努力が及ばない者に対する適用除外	ボランティアによる清掃ごみに対する適用除外	その他	無回答
%						
20歳未満	14.3%	42.9%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
20歳代	36.8%	42.1%	31.6%	52.6%	10.5%	5.3%
30歳代	25.0%	75.0%	53.6%	46.4%	3.6%	3.6%
40歳代	18.6%	61.0%	66.1%	54.2%	11.9%	5.1%
50歳代	32.7%	67.3%	70.9%	43.6%	1.8%	5.5%
60歳代	30.9%	60.3%	73.5%	36.8%	4.4%	5.9%
70歳代	28.3%	47.2%	53.8%	36.8%	7.5%	15.1%
80歳以上	40.5%	51.4%	45.9%	35.1%	0.0%	16.2%
年代無回答	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%

問 1 8

ごみ有料化が導入された場合の意識についてお聞きます。もし家庭ごみの有料化が導入された場合、あなたのごみ減量や資源化に対する取り組み方は変わりますか。（１つだけ選択）

・ほとんどの世代で半数が「より一層積極的に取り組むようになると思う」と回答している。

	より一層積極的に取り組むようになると思う	取り組み方は特に変わらないと思う	無回答
%			
20歳未満	57.1%	42.9%	0.0%
20歳代	57.9%	36.8%	5.3%
30歳代	39.3%	60.7%	0.0%
40歳代	54.2%	42.4%	3.4%
50歳代	69.1%	25.5%	5.5%
60歳代	48.5%	48.5%	2.9%
70歳代	50.0%	38.7%	11.3%
80歳以上	59.5%	32.4%	8.1%
年代無回答	66.7%	33.3%	0.0%

問 1 9

問 1 8 で、「より一層積極的に取り組むようになると思う」と答えた方にお聞きます。どのような取り組みを行いますか。（複数選択可）

・「マイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにする」は30歳代が約9割回答している。
 ・「紙コップや割り箸などの使い捨て商品は使わず、繰り返し使用できる商品を買うようにする」は20歳未満の割合が多い。

	ごみと資源の分別を徹底する	過剰な包装を断るようにしている	マイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにする	再生品を優先して選ぶ（トイレットペーパーなど）	紙コップや割り箸などの使い捨て商品は使わず、繰り返し使用できる商品を買うようにする	電気製品や衣料品などは修理できるものは修理して、長く使うようにする	生ごみの水切りを徹底して、生ごみの重量やかさを減らすようにする	生ごみをたい肥化したり、生ごみ処理機を使ったりして、できるだけ生ごみを出さないようにする	食材を買いすぎたり、食べ残しをしないようにする	トレイや牛乳パック、びん・かん・ペットボトル・新聞など、販売店に返せるものは返すようにする	フリーマーケットやリサイクルショップを積極的に活用する	その他	無回答
%													
20歳未満	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%	75.0%	25.0%	50.0%	0.0%	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%
20歳代	54.5%	54.5%	45.5%	18.2%	36.4%	18.2%	27.3%	18.2%	45.5%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%
30歳代	63.6%	63.6%	90.9%	27.3%	27.3%	9.1%	36.4%	9.1%	45.5%	45.5%	27.3%	0.0%	0.0%
40歳代	53.1%	53.1%	65.6%	15.6%	59.4%	40.6%	40.6%	18.8%	46.9%	53.1%	9.4%	3.1%	3.1%
50歳代	73.7%	65.8%	76.3%	28.9%	55.3%	31.6%	50.0%	7.9%	63.2%	71.1%	26.3%	0.0%	0.0%
60歳代	75.8%	63.6%	72.7%	36.4%	57.6%	33.3%	63.6%	6.1%	60.6%	69.7%	9.1%	3.0%	0.0%
70歳代	69.8%	52.8%	67.9%	37.7%	47.2%	39.6%	71.7%	20.8%	54.7%	58.5%	5.7%	5.7%	0.0%
80歳以上	72.7%	50.0%	72.7%	36.4%	54.5%	31.8%	77.3%	13.6%	50.0%	59.1%	18.2%	4.5%	0.0%
年代無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 2 0

問 1 8 で、「取り組み方は特に変わらないと思う。」と答えた方にお聞きします。主な理由は何ですか。
(1 つだけ選択)

・全世代で「すでに努力しているため、今以上の取り組みは難しい」の回答が 5 割を超えている。2 0 歳未満と 5 0 歳代は 1 0 0 % の割合。

	ごみ処理費用（指定袋の価格）があまり気にならない	ごみの減量や資源化には手間がかかるため、費用がかかっても構わない	すでに努力しているため、今以上の取り組みは難しい	その他	無回答
%					
2 0 歳未満	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
2 0 歳代	28.6%	0.0%	57.1%	14.3%	0.0%
3 0 歳代	5.9%	5.9%	82.4%	5.9%	0.0%
4 0 歳代	4.0%	16.0%	76.0%	4.0%	0.0%
5 0 歳代	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
6 0 歳代	12.1%	3.0%	78.8%	3.0%	3.0%
7 0 歳代	2.4%	2.4%	90.2%	4.9%	0.0%
8 0 歳以上	25.0%	8.3%	58.3%	8.3%	0.0%
年代無回答	-	-	-	-	-